

# 令和3年度 事業報告

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

# 目 次

はじめに	2
1. 市民による支え合い活動の推進	3
(1) 新・草の根事業の包括的な見直しに向けた取り組み	
(2) 新たな地域支え合い活動の仕組みづくり	
(3) 新たな地域課題への対応	
(4) 地域福祉活動の担い手確保の促進	
(5) 市社協ならではの子育て支援	
(6) 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の推進	
(7) 赤十字活動への協力（日赤山形県支部酒田市地区活動）	
2. 高齢者、障がい者等の権利擁護	7
(1) 福祉サービス利用援助事業と成年後見事業の拡充	
3. 低所得者への支援	9
(1) 生活困窮者の自立支援	
4. 公益活動の振興と支援	12
(1) 市民による公益活動の推進	
(2) 社会福祉法人の連携強化（協働による公益的取り組み）	
5. 災害時支援活動と避難者支援活動の推進	13
(1) 災害時支援活動	
(2) 東日本大震災に伴う避難者支援	
6. 相談事業の推進	14
7. 介護及び障がい福祉サービス事業の推進	15
(1) 共通事項	
(2) 居宅介護支援事業	
(3) 特定相談支援事業、障がい児相談支援事業	
(4) 訪問介護事業	
(5) 通所介護事業（デイサービスいずみ、松山）	
(6) 地域包括支援センター事業	
8. 顕彰、慰霊事業の実施	20
9. 第4期地域福祉活動計画の策定	21
10. 適正な法人運営と組織体制の充実	22
むすびに	24

# 令和3年度 事業報告

## はじめに

地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化の進行や人口減少、過疎化、家庭や地域での支え合い機能の弱まりなどを背景として、大きく変化しています。これに伴い、様々な生活の困りごとや暮らしにくさを抱える人々が増えています。

私たちが暮らす酒田市でも、人口減少、少子高齢化が進行しております。人口は毎年1,100～1,500人減少し、高齢化率は令和3年9月末で36.5%（住民基本台帳）、高齢者だけで生活する世帯は約10,300世帯（令和2年11月、民生児童委員福祉ニーズ調査）と年々増加傾向にあります。高齢社会の進展により、地域福祉の担い手不足や一人暮らし高齢者の見守り活動、買い物・通院・除雪などの高齢者の日常生活の支援に関する課題が注目されてきましたが、これらに加え、ひきこもり、孤立・孤独死、自殺、生活困窮者の増加、社会的弱者（子ども・高齢者・障がい者等）への虐待、権利擁護、ダブルケア、8050問題などが顕在化しています。いずれも地域社会からの孤立が背景となっており、複雑化、多様化することで、さらに課題が深刻化し、公的な支援、縦割りによる個別の支援だけでは対応が困難になってきています。

令和3年度は、長引く新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、社会・経済状況が極めて厳しくなっています。この状況が長く続くことで、人と人の社会的つながりを確保することも難しい状況になっています。

このように地域社会を取り巻く状況が激しく変化する中、すべての人が住み慣れた地域で安心して生活していくためには、地域住民をはじめ、あらゆる関係者、組織・団体が「我が事」として主体的に参画することが大切です。誰もが役割を持ち、活躍できる「地域共生社会（ともに生きる豊かな地域社会）」の実現を目指し、連携・協働により、地域生活課題の解決に向けた包括的な支援体制を整備することが必要です。

酒田市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）は、このような状況認識のもと、第3期地域福祉活動計画（平成28年度から令和2年度までの5年間の計画、その後1年延長）を踏まえながら、さらに全国社会福祉協議会が示した市区町村社協経営指針（令和2年7月改定）に基づき、以下の基本方針のもと、事業を実施しました。

- ①地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- ②誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの提供
- ③地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- ④地域生活課題に基づく、先駆的・開拓的サービス・活動の創出
- ⑤持続可能で責任ある自律した組織経営

新型コロナウイルス感染症が収束しない中ではありますが、一連の市社協事業を実施するにあたっては、市関係課はもとより、学区・地区社協、自治会、コミュニティ振興会、民生委員・児童委員、福祉協力員、関係機関・団体・事業所の皆様から多くのご協力を賜りました。ここに改めて感謝を申し上げつつ、以下、令和3年度事業をご報告いたします。

## 1. 市民による支え合い活動の推進

### (1) 新・草の根事業の包括的な見直しに向けた取り組み

#### 【基本的な考え方と方針】

- 学区・地区社会福祉協議会とともに、新・草の根事業を中心とした地域福祉活動を通し、住み慣れた地域で継続して生活できる地域づくりを推進する。
- 制度発足後、時間が経過する中で、各地域で関係性の希薄化、高齢化、過疎化が進み、担い手不足も顕在化しているため、社会情勢の変化に合わせた活動ができるよう、制度の見直し、改善を進める。
- 見守りネットワーク支援事業で、対象者の見守りを行っていただいている福祉協力員の現状を踏まえ、より活動しやすい環境づくり、仕組みづくりを進める。

#### 【令和3年度事業実績】

\* 市社協の基本組織であり事業活動の基本単位である学区・地区社協とともに、次の6つの事業に取り組みました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動しにくい状況になっています。

- ◆学区・地区社協運営事業
- ◆見守りネットワーク支援事業
- ◆合同研修事業
- ◆ふれあい給食事業
- ◆地域あんしん事業
- ◆地域交流サロン事業

#### ①見守りネットワーク支援台帳の取り扱いについて

\* 災害時要援護者台帳との一元化を進める行程の一つとして、見守りネットワーク支援台帳についても様式を見直し、印鑑を省略し、署名もしくは口頭による代理での登録申請を認めることで市福祉課との協議を進め、改訂を行いました。

#### ②新しい生活様式を踏まえた地域福祉活動の提案

\* 新型コロナウイルス感染防止のために、参集によらない書面での研修会や手作りではなく業者弁当によるふれあい給食の実施など、他地区の事例の情報提供を行うとともに、「会報ふれあい」でも事例の紹介をしました。しかし、市内でも感染が拡大し、公共施設等が一時閉鎖されるなど影響は大きく、活動がしにくい状況となりました。

#### ③福祉協力員の研修会の開催

\* 新型コロナウイルス感染拡大により、参集しての研修会開催に代えて研修内容を収録したDVDを作成し、学区・地区社会福祉協議会へ配布しました。お渡しした地区からは合同研修会の際に活用したいなど好意的な声も聞かれています。なお、「福祉協力員の手引き」の見直しについては、全体での意向調査を含めて、引き続き検討していきます。

#### ◆新・草の根事業

(単位：人、回)

		平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
見 守 り	ネットワーク対象者数	2,389	2,312	2,179	2,107	1,865
	福祉隣組数	1,715	1,679	1,544	1,450	1,429
	福祉協力員数	500	501	499	502	511
ふれあい給食(回数)		195	202	194	157	193
地域交流サロン(回数)		1,272	1,591	2,152	1,137	1,140

### (2) 新たな地域支え合い活動の仕組みづくり

#### 【基本的な考え方と方針】

- 日常生活の困りごとを抱える高齢者等が増えている中で、地域住民が主体となって地域の生活課題を共有し、その課題解決のために取り組んでいく仕組みづくりを進める。

○地域支え合い活動と同じような目的で地域づくりを進めようとしている市関係課と連携し、それぞれの強みを活かしながら、地域との協働による仕組みづくりを進める。

**【令和3年度事業実績】**

**①住民が主体となった地域支え合いの推進**

- \* 琢成学区「よろずや琢成」、日向地区「日向ささえあい除雪ボランティア」、南遊佐地区「マイ夢の里プロジェクト」、松陵学区「松陵いこいの場」など、地域支え合い活動推進事業でこれまでに立ち上げ支援をしてきた地区について、継続して支援や情報提供を行いました。特に「よろずや琢成」については、視察や講演などの依頼があり、資料作成などの支援を行いました。
- \* 市まちづくり推進課が進めている地域計画（ビジョン）の策定については、北平田地区、上田地区、西荒瀬地区で進められており、策定会議には市社協として、引き続き参加して協力、支援に努めました。会議の開催状況は以下のとおりです。
  - ・北平田の明日を考える会（北平田地区） 7/17（土）、10/16（土）、3/19（土）開催
  - ・超上田会議（上田地区） 11/18（木）開催
  - ・西荒瀬2040（西荒瀬地区） 11/26（金）開催
- \* 策定会議では、ワークショップを含む研修会に市社協職員が参加するとともに、西荒瀬地区では、アンケート調査の調査表作成、集計表作成に協力しながら進めています。
- \* 地域において生活課題を解決するための機運づくりを進めるためには、その前段となる生活共同体としての住民意識の醸成が求められます。新型コロナウイルス感染拡大により、この働きかけが行いづらい状況にあるため、まずは地域の役職員との課題意識の共有に努めました。
- \* 若浜学区社協では、地域生活課題として一番に掲げられた「除雪」をテーマに研修会を開催し、課題解決のための話し合いを始めました。11月18日に開催された会議では、市社協はワークショップ、研修会開催に協力しました。

**(3) 新たな地域課題への対応**

**【基本的な考え方と方針】**

- 自殺者の増加、高齢者を標的にした悪質商法・特殊詐欺事件、ひきこもり者の問題（関連した「8050問題」）、地域での空き家やゴミ屋敷、DV被害、刑余者への福祉的支援など新たな地域課題に対し、行政や関係機関と連携しながら対応する。
- 多様化・複雑化するニーズを的確に受け止め、必要な支援活動に結び付けるための総合的な相談支援体制づくりを進める。

**【令和3年度事業実績】**

**①関係機関・団体に対する支援**

- \* 各課題を支援する保健、消費生活、司法、更生保護、衛生などの関係機関や団体が主催する相談会・研修会などの周知、情報提供に協力しました。また、これら関係機関や団体が開催する支援関係者の会議への出席を通して、これらの機関・団体との連携に努めました。
- \* 特に、再犯防止・更生保護の分野では、「酒田市再犯防止推進計画策定のための意見交換会」（令和3年9月）に出席するとともに、第4期地域福祉活動計画では「罪を犯した方等の立ち直りの協力」を目標の実現に向けた取組みとして設定し、今後、市社協が実施する各種福祉的支援との連携をさらに深めることとしました。

**②協働による相談・支援の実施**

- \*生活困窮者自立相談支援事業、福祉サービス利用援助事業のほか、市社協で担っている相談事業では、多様化・複雑化する課題や制度の狭間の問題に対応する場面が多くなっており、必要に応じ、関係機関・団体などと協働して、相談・支援を実施しました。

#### (4) 地域福祉活動の担い手確保の促進

##### 【基本的な考え方と方針】

- あらゆる年代の人々が各々のライフステージにあった福祉活動の担い手となれるよう、活動に参加しやすい仕組みづくりを進める。
- 家庭、学校、地域、職場などでの出前講座やボランティア体験、介護体験の機会を拡大し、福祉に関わるきっかけづくりを進め、将来の福祉活動の担い手を養成する。

##### 【令和3年度事業実績】

###### ①元気シニアボランティア事業の推進

- \*対象となるボランティア活動を介護保険施設等だけでなく、新たに介護予防・日常生活支援総合事業（通所B型）にも広げたことで、登録者が増加し、多くの方から元気シニアボランティアとして活動いただきました（令和2年度17名→令和3年度40名）。
- \*介護保険施設等でのボランティア希望者については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設側でボランティアの受入が難しく、実施できませんでした。

###### ②地域、保護者、学校等との協働による地域での福祉教育（共育）の実施

- \*市委託の福祉の担い手育成事業の高齢者疑似体験を小中学校10校で実施しました。
- \*福祉の担い手育成事業の新プログラム作成のため、市福祉課等と協議し、令和4年度から山形県聴覚障害者協会庄内支部に協力をいただきながら、ろう者との「障がい者交流体験事業」を実施することにしました。

###### ③ボランティア体験講座の充実

- \*地域住民や学校から申込を受け、学区・地区社協や自治会の会合、研修等に法人職員を講師として派遣、福祉に関する講座を提供する「ふくし出前講座・ふくし共育出前講座」は、新型コロナウイルス感染拡大のため、やむなく中止した講座もありましたが、令和3年度は13講座を実施し、地域での学びの機会の拡大に努めました。

#### (5) 市社協ならではの子育て支援

##### 【基本的な考え方と方針】

- 共同募金の助成などを通じた保育所・学童保育所、子育て支援団体への支援を継続して行う。
- 近年、活動が増えている子どもの居場所づくり、子ども食堂などの開設や運営の相談・支援、情報発信を行い、地域での子育て支援活動を広げる。

##### 【令和3年度事業実績】

###### ①子育て支援団体への支援・協力

- \*これまで共同募金の助成を通じて、法人保育園が実施する地域の交流事業を応援してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、交流事業が実施できない団体もあったため、交流事業に限らず、他の対象事業などの情報を提供するなど、個別の相談に対応しました。
- \*子ども食堂などを行っている団体に民間で実施している助成事業や食料寄付の情報提供を行うとともに、適宜フードバンクから食料を提供しました。また、イベント等をポラポートさかたのホームページ、メール等で周知し、情報発信を行いました。

## (6) 共同募金事業（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金）の推進

### 【基本的な考え方と方針】

- 共同募金の意義の周知や理解の浸透を行うとともに、イベント等の開催・参加を通して募金を促す等、工夫・改善をしながら、募金額の確保を図る。
- 市内で活動する福祉団体の情報把握に努め、助成を必要とする団体に対し、幅広く活動支援を行う。

### 【令和3年度事業実績】

#### ①共同募金運動に対する理解の促進

- \*自治会長、支部福祉推進員、地区コミュニティ振興会長の皆さまに対し、研修・説明会を通して、共同募金の趣旨や仕組みについて説明し、理解、協力をお願いしました。
- \*県共募で毎年作成している周知用のチラシには、酒田市共募で行っている助成事業、内容等が掲載されていないため、独自のチラシを作成しました。市内での募金の使われ方を広報することにより「自分の地域をよくする仕組み」として、わかりやすい共同募金運動の周知に力を入れました。
- \*学校募金の活動を促すために、周知ポスターや募金活動に提供できる資材を直接学校に持参し、協力をお願いしました。実績としては6校（前年度7校）でしたが、引き続き多くの学校から協力をいただけるようお願いしていきます。

#### ②法人募金、職域募金、募金箱設置等の取り組み

- \*法人募金、職域募金、募金箱設置等の取り組みについては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら募金活動を実施しましたが、街頭募金やイベント募金については、十分な活動ができませんでした。
- \*募金額の確保のため、一定額以上の募金に協力をいただいた場合に進呈している酒田市共募オリジナルの缶バッジ等に加え、新たに「もしえのん」「あののん」のイラストをプリントした小型のトートバックを作成しました。歳末たすけあい募金では、総合文化センターで「色紙・楽焼展」を開催しました。

#### ◆共同募金実績

(単位：円、%)

	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
目標額	12,939,000	12,542,000	12,490,000	12,491,000	12,508,000
実績額	12,614,036	12,523,812	12,405,129	11,829,027	11,643,004
達成率	97.5%	99.9%	99.3%	94.7%	93.08%

#### ◆歳末たすけあい募金実績

(単位：円、%)

	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
目標額	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
実績額	4,086,729	3,993,926	3,936,223	3,857,988	3,918,050
達成率	102.2%	99.8%	98.4%	96.4%	97.95%

## (7) 赤十字活動への協力（日赤山形県支部酒田市地区活動）

### 【基本的な考え方と方針】

- 赤十字活動の普及啓発や活動への理解の浸透を行うとともに、会費等納入の理解・協力を働きかける。
- 赤十字奉仕団、自治会等による災害等対応訓練に資器材を貸し出し、訓練活動を通して、地域の安心安全への意識を高める。

### 【令和3年度事業実績】

- \* 赤十字活動は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という人道的使命に基づき、国内災害救護、救急法の普及、赤十字ボランティア、青少年赤十字、国際活動、血液事業など、多岐にわたる事業を展開しています。
- \* ウクライナ人道危機救援金、令和3年8月大雨災害義援金等、新たに義援金の受付を行いました。(令和3年度各種救援金、災害義援金総額243,454円)
- \* 自治会長、支部福祉推進員、地区コミュニティ振興会長の皆さまに対し、研修・説明会を通して、日赤県支部リーフレット等を使って情報提供を行いながら、赤十字活動、会費納入の理解、協力をお願いしました。
- \* 酒田市赤十字奉仕団(民生委員・児童委員協議会連合会)主催で、県支部から講師を招き、赤十字防災セミナーの研修会を実施しました。
- \* 県支部からワンタッチテント1張の寄贈を受けました。引き続き、赤十字奉仕団や自治会、自主防災協議会等に対し、炊き出し訓練時に活用するよう働きかけます。
- \* 市内で住宅火災(全焼・半焼)が2件発生し、見舞金や日用品セット、毛布を支給しました。

#### ◆赤十字社資納入実績

(単位：円、%)

	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
目標額	21,183,000	21,266,000	21,241,000	20,685,000	20,685,000
実績額	19,102,030	18,686,374	18,479,612	18,730,427	18,287,065
達成率	90.2%	87.9%	87.0%	90.6%	88.4%

## 2. 高齢者、障がい者等の権利擁護

### (1) 福祉サービス利用援助事業と成年後見事業の拡充

#### 【基本的な考え方と方針】

- 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うことで、地域で安心して生活が継続できるよう支援する。
- 福祉サービス利用援助事業の利用者の判断能力の低下や家屋等財産管理の課題がある場合は、成年後見制度の利用につなげ、市社協が法人として担うことで利用者が長期間、安心できる権利擁護を行う。
- 福祉サービス利用援助事業、法人後見事業とも増加傾向にあることから、その実施体制を充実するとともに、行政や関係機関と連携して、事業の周知、支援を行う。
- 令和3年度末までに市町村に設置が求められている中核機関(成年後見センター)の情報収集に努め、円滑な設置や地域連携ネットワークの構築に向けた協力を行う。

#### 【令和3年度事業実績】

##### ①福祉サービス利用援助事業の適正な実施

- \* 福祉サービス利用援助事業の利用者は増加しており、令和3年度では新たに契約を結んだ方が37名(解約は24名)おり、令和3年度末では139名の方が利用しています。利用者は高齢者が半数程度となっており、高齢化が進む地域において、今後も利用者は増加すると考えています。
- \* 令和3年度に5名の方が福祉サービス利用援助事業から成年後見制度に移行しました。その内4名は、市社協が法人後見として、引き続き支援しています。施設入所の手続き



や財産管理の必要性など、福祉サービス利用援助事業だけでは対応が難しい課題がある場合は、必要に応じて、成年後見制度へ移行できるよう支援を続けています。

- \* 権利擁護に対する市民の意識向上を図るため、「相続・遺言」などをテーマに1月下旬に研修会を企画しましたが、市内での新型コロナウイルス感染者が直前になり増加したため、中止し、申込者へ資料を送付いたしました。

◆援助内容別件数（延件数）

（単位：件）

援助内容	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
福祉サービス利用援助	109	121	130	126	139
日常的金銭管理サービス	109	121	130	126	139
書類等預かりサービス	106	119	128	124	136
計	324	361	388	376	414

②法人後見事業の適正な実施

- \* 福祉サービス利用援助事業利用者の判断能力の低下や家屋等財産管理の課題がある場合などで、市長が後見等開始を申立する事案が増加しています。
- \* 令和3年度末で16名受任していますが、受任にあたっては、市社協に設置した受任検討委員会を開催して、受任の可否を判断するとともに、受任後も後見業務の適正を期するため、成年後見事業業務審査委員会を開催しています。
- \* 法人後見業務の内容は、下記のとおりですが、福祉サービス利用援助事業と同様、認知症高齢者の増加などにより、本事業の利用は増えています。令和3年度の新規受任件数は6件、死亡により終了した件数は2件でした。継続して受任体制の強化が課題となっています。
- \* 地域住民の成年後見制度の相談対応を行うとともに、県主催研修会（8月23日、成年後見制度利用促進研修会）や県社協研修会（9月22日、法人後見実施社協情報交換会）などにオンラインで参加、情報収集に努めました。また、庄内保健所主催の研修会（10月18日、精神障がい者家族教室）では「成年後見制度と親亡き後の暮らしの実際」をテーマに講師を務めました。

【法人後見業務の内容】

- ◆医療・介護・福祉など生活面における身上監護
- ◆預金や不動産などの財産管理
- ◆契約の締結・解除 など

◆成年後見受任状況

（単位：件）

	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
新規受任件数	1	2	1	3	6
終了件数	0	2	2	2	2
現在受任件数	12	12	11	12	16

③「地域連携ネットワーク」体制の構築、「中核機関」設置に向けて

- \* 国は全市町村に対し、令和3年度末まで「成年後見支援センター」を設置するよう求めています。これは、成年後見制度を必要とする人が制度を利用できるよう地域連携ネットワーク体制を構築し、そのコーディネーターや事務局を担う中核機関となるものです。市は令和4年度を始期とする第4期地域福祉計画（成年後見制度利用促進計画）で「成年後見支援センター（中核機関）」の設置を位置付けており、今後、法人後見事業

を行っている市社協がその役割を担うことができるよう市と協議を進めていきます。

### 3. 低所得者への支援

#### (1) 生活困窮者の自立支援

##### 【基本的な考え方と方針】

- 生活保護に至る前の生活困窮者に対して自立支援を行うことを目的に「生活自立支援センターさかた」を設置（山形県及び市から受託）し、「断らない相談支援」を基本としながら、自立相談や就労支援を関係機関と連携して行う。
- 生活困窮者に対して、生活福祉資金等の貸付相談や必要な相談支援を行い、生活再建や経済的自立を図り、安定した生活を送ることができるよう支援する。
- 複合的な課題を抱える方々を支援するため、他の相談機関等との連携を強化し、総合的な支援体制の構築を推進する。
- 市社協独自の取り組みであるたすけあい資金貸付やフードバンク事業を通して、窮迫した生活困窮者に対し、命をつなぐため緊急的・臨時的に生活支援を行う。

##### 【令和3年度事業実績】

#### ①自立相談支援事業の実施

- \* 市と県（庄内町・遊佐町を管轄）から業務委託を受け、地域福祉センター内に「生活自立支援センターさかた」を設け、相談対応しました。
- \* 新型コロナウイルス感染症の影響により、相談者が急増した令和2年度に比べると新規相談者数は落ち着いたものの、新規、継続を合わせた相談対応件数は依然として高く、多くの相談に対応しました。
- \* 年間の新規相談者実数は、次頁の表のとおりです。新規、継続を合わせた延べ相談対応件数は、酒田市・庄内町・遊佐町合計で4,008件（前年度比374件増）でした。
- \* 相談対応方法は、電話2,226件、来所面談1,189件、訪問123件、同行75件、メール・郵送395件でした。
- \* 相談の内容については、「収入・生活費（家計の相談を含む）」と「生活福祉資金に関すること」が多く、この2つで全体の約7割を占めました。次いで「仕事探し・就職」が多く、その他にも「家賃・ローン」「教育資金」「住まい」「債務」「病気、健康、障がい」「ひきこもり」「職場の不安」「ペットのこと」等、幅広い相談が寄せられました。
- \* 相談支援にあたっては、相談者が抱える課題や状況の把握に努め、本人の意思を確認し、個々人の状態に合わせて進めるよう心がけました。課題解決のための支援プランを相談者と協力して策定しました。支援調整会議を開催し、支援内容について確認いただくとともに、より有効な支援策について協議しました。また、プランや支援調整会議の有無にかかわらず、相談者への対応は、市・県行政機関、就労準備支援事業者、ハローワーク酒田、若者サポートステーション、障がい者相談支援機関等、関係機関と相談、連携しながら進めました。
- \* 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、減収した相談者には、国などによる支援制度に沿いながら対応しました。また、市より新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金受付事務等業務を受託しました（令和4年度も継続）。令和3年度の申請受付件数（再支給含む）は44件でした。
- \* 就労支援の状況は、ハローワーク等への同行、相談者の希望やスキルと求人とのマッチング等、伴走型の支援を心がけました。令和3年度は、酒田市65件、庄内町6件、遊佐町6件が就労に結びついています（就労以外の支援のみの相談者も含む）。

\* 各関係機関や公共施設へパンフレットを配置、市広報・市社協会報・市社協ホームページ等への情報掲載、出前講座等により、本事業及び生活自立支援センターさかたの周知に努めました。

\* 5月の大型連休、年末年始休暇も緊急の相談に対応するため、臨時窓口を開設しました（5月3日、12月30日に開設）。

①職員体制

- ◆ 所長1名（兼務）、副所長1名（兼務）
- ◆ 主任相談支援員1名、相談支援員2名、就労支援員1名配置  
※ 増加する相談に対応するため相談支援員を1名増員しました。

②支援調整会議

- ◆ 行政、関係機関との支援調整会議の開催（5回）  
※ 情報交換会、個別のケース会議、書面開催は含めていない。

③周知・広報

- ◆ 事業周知のため酒田市広報相談欄に掲載（毎月1日号）
- ◆ 酒田市社協会報ふれあいに周知記事掲載（年3回）
- ◆ パンフレットの作成と関係機関への配置
- ◆ ホームページへの掲載等

◆ 新規相談受付人数

（単位：人）

	平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度
酒田市	201	193	216	490	249
庄内町	28	23	21	27	11
遊佐町	16	10	11	13	10

◆ 就労決定者数

（単位：人）

	平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度
酒田市	44	36	52	54	65
庄内町	3	8	8	11	6
遊佐町	4	2	4	2	6

②貸付事業の実施

《生活福祉資金貸付事業》

- \* 本事業は、県社協からの委託を受けて実施しており、県社協や民生児童委員と連携して進めています。
- \* 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年3月から生活福祉資金の特例貸付が新設されました。昨年度に引き続き多くの相談があり、特例貸付を含む生活福祉資金全体の申請件数は357件でした。
- \* 生活福祉資金の償還指導にあたっては、引き続き、生活の状況把握に努め、一人ひとりの状況に応じた対応を心掛けました。

## ◆福祉資金相談・貸付申請件数

(単位：件)

相談・資金種別		平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度
相談件数		157	122	206	1,703	2,025
貸付申請件数 (資金種別毎)	総合支援資金	1	0	1	2	0
	福祉資金	12	5	5	9	4
	緊急小口(福祉)	23	17	21	10	3
	教育支援資金	19	14	8	7	7
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	0	0	0	1
	緊急小口(コロナ)特例	—	—	2	239	135
	総合支援資金(コロナ)特例※	—	—	—	104	119
	総合支援資金(コロナ)特例再貸付	—	—	—	29	88

※延長決定 42 件を含む。「—」は制度なし。

## 《たすけあい資金貸付事業》

- \* 市福祉課との連携のもと、生活保護受給者及び生活保護申請受理見込者で、緊急かつ不時の出費を要する世帯に対し、資金の貸付を行いました。
- \* 償還については、市福祉課による適切な指導を要請し、償還が滞ることのないよう常に実態調査に努めました。
- \* 生活保護受給者、見込者以外の生活困窮世帯に対する貸付では、生活自立支援センターさかたの支援を受けることを条件に貸付けを行いました。
- \* たすけあい資金全体では、令和 3 年度貸付件数は 87 件、そのうち生活困窮世帯への貸付件数は 19 件で、前年度と比べ減少しました。
- \* 生活困窮世帯に対する償還については、随時相談に応じ、状況把握に努め、必要な世帯には償還計画の見直しを行いました。

## ◆たすけあい資金貸付状況

(単位：件、円)

	平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度
貸付件数	31	45	92	110	87
貸付額(円)	1,117,000	1,431,000	2,980,000	3,792,500	3,167,400
返済件数	120	137	230	225	252
返済額(円)	903,182	1,423,784	2,189,716	3,553,700	3,471,508

## ③フードバンク事業の実施

- \* 緊急時の対応として、平成 28 年 1 月にコープ東北サンネット事業連合と食料品の無償提供の協定を結び、食料支援ができる体制を継続しています。また、市内の多くの企業や団体等より食料品等の提供をいただいております。フードバンクによる食料支援が必要な方に提供しました。令和 3 年度のフードバンク提供件数は、酒田市 196 件、庄内町 15 件、遊佐町 1 件、合計 212 件でした。
- \* SDG's への関心の高まりにより、スーパー、コンビニ等でフードドライブを開設する活動やふるさと納税返礼品によるフードバンクへの寄付などの動きも出てきています。

## ④体制強化の検討等

- \* 新型コロナウイルスによる生活困窮者の相談が増加しており、これとあわせて生活福祉資金の貸付事務を担う生活自立支援センターの業務は増大しており、その体制強化は大きな課題となっています。現在の社協内部異動による応援体制のあり方も含め、生活困窮者自立支援制度の任意事業の家計改善支援事業導入等について、市と協議を進めます。

## 4. 公益活動の振興と支援

### (1) 市民による公益活動の推進

#### 【基本的な考え方と方針】

- 多様化、複雑化する生活課題に対応するため、地域の様々な関係機関・団体との協働のもと、ボランティア意識の向上と人材育成を図り、ボランティア・公益（市民）活動団体への情報提供、支援を通して、活動の活性化を図る。
- ボラポートさかた（酒田市ボランティア・公益活動センター）の運営を市から受託し、中間支援の役割にとどまらず、ボランティア・公益活動を創出する役割も担うことで、ボラポートさかたの存在感を示していく。
- ボラポートさかたの運営、事業実施にあたっては、東北公益文科大学のほか、関係機関・団体と連携しながら、進めていく。

#### 【令和3年度事業実績】

##### ①ボラポートさかたの運営

- \* 東北公益文科大学地域共創センターと協議し、ボランティアコーディネーション力3級検定後、ボランティア活動の場につながるよう事前・事後学習会を開催したり、希望者がボラポートさかたのメールを受信できるようにしました。
- \* 「ボラポートさかた通信」を年9回発行するほか、ボラポートさかたの認知度アップ、ボランティア情報を多くの方に届けることを目的にInstagramアカウントを開設しました。登録団体の活動紹介やイベント・研修会の様子等を写真付きで投稿することで、活動の雰囲気や伝わるよう工夫しました。
- \* 夏のボランティア体験は、新型コロナウイルスの影響で体験が実施できなくなることも想定し、例年より実施期間を長めに設定して、実施しました。しかし、8月下旬から市内でも新型コロナウイルスの感染が拡大したことから、ボランティア受入が中止となり、一度も活動できなかった方もいました。

##### ②福祉関係事業の受託

- \* 手話奉仕員育成事業、福祉の担い手養成事業、元気シニアボランティア事業、障がい者アート展について、引き続き受託して事業を行いました。
- \* 福祉の担い手養成事業では、高齢者疑似体験を小中学校10校で実施しました。また、新たなプログラム作成のため市福祉課、関係団体と協議し、令和4年度から障がいを持つ当事者との交流体験事業を実施します。[再掲]
- \* 元気シニアボランティア事業は、これまで介護保険施設等でボランティア活動を行った場合にポイントを付与していましたが、新たに介護予防・日常生活支援総合事業（通所B型）を運営するスタッフとして活動した場合も、ポイント対象に加え、登録者の拡大を図りました（令和2年度17名→令和3年度40名）。[再掲]
- \* 障がい者アート展（SAKATAアートマルシェ2021 いいいろいろ展）は、新型コロナウイルス感染防止対策として、会場を出羽遊心館1箇所だけとし、規模を縮小して実施しました。今後、障がい者アート展を自主的に運営できる組織体制について、関係者と協議を行っています。

開催日 9月18日（土）から9月26日（日）まで（21日は休館日）

来館者数 652人

##### ③ボランティア活動保険加入の推進

- \* 市社協（地域福祉センターと市社協各支部）とボラポートさかたで加入手続きや保険に関する相談などを行い、76団体、個人14名、合計4,986名が保険加入し、ボ

ランティア活動をしやすい環境整備に努めました。

## (2) 社会福祉法人の連携強化（協働による公益的取り組み）

### 【基本的な考え方と方針】

- 公益性、非営利性が高い社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」の実施が求められており、市内の社会福祉法人との連携、協働による取り組みを通し、地域社会から信頼される社会福祉法人を目指す。
- 市社協は、この社会福祉法人との連携、協働の中心的存在として、「法人と法人」、「地域と法人」をつなぎ役としての役割を果たす。

### 【令和3年度事業実績】

#### ①市内社会福祉法人との連携、協働の継続

- \* 市社協が主催し、「地域における公益的な取組」に関する情報交換、連携した取り組みについて協議する「酒田市社会福祉法人連絡会議」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に引き続き、書面にて開催し、出前講座の継続実施やメニュー内容等について、法人間で確認しました。
- \* 地域住民や学校から申込を受け、学区・地区社協や自治会の会合、研修等に法人職員を講師として派遣、福祉に関する講座を提供する「ふくし出前講座・ふくし共育出前講座」は、新型コロナウイルス感染拡大のため、やむなく中止した講座もありましたが、「寸劇を通じた介護サービスや制度の説明（講師；かたばみ会）」、「老化を防ぐ食事と栄養（講師；友和会）」、「成年後見制度や自立支援事業の解説（講師；市社協）」など、令和3年度は13講座を実施し、地域での学びの機会の拡大に努めました。[再掲]

## 5. 災害時支援活動と避難者支援活動の推進

### (1) 災害時支援活動

#### 【基本的な考え方と方針】

- 全国で大規模な自然災害等が発生する中で、本市が被災した時には被災者支援活動を展開する拠点として、災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」という。）を設置し、支援活動のコーディネートを行い、早期の災害復旧による市民生活の再建を支援する。
- 平常時においても、行政や関係機関の協力を得ながら、災害VCの設置・運営訓練を行い、災害時の対応に備える。
- 本市が被災する場合だけでなく、他地域で大規模災害が発生した場合は、山形県社協等からの派遣要請を受け、市社協の職員を被災地社協（災害VC）へ派遣するとともに、市民やボランティア団体等、災害ボランティア活動に参加できる方を募り、被災地での支援活動を行う。

#### 【令和3年度事業実績】

#### ①災害VC設置・運営訓練の実施

- \* 9月に県社協から講師を招いて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、市外との行き来が難しくなったため、講師からはオンラインで参加いただき、職員も人数を限定して開催しました。周辺自治会への参加呼びかけは中止しました。
- \* 令和3年度に市社協と災害時支援協定締結を行ったライオンズクラブ国際協会 332-E 地区第5リージョン第1ゾーンの方からも災害VC設置・運営訓練に参加いただき、災害VCについて理解を深め、市社協との協力関係を再確認することができました。

#### ②被災地支援活動への協力

- \* 7月の大雨、8月の台風9号、10号で近畿、東海、関東を中心として各地に災害ボランティアセンターが開設されましたが、いずれも被災地県内、近隣市町村でのボランティア派遣要請にとどまっていることから、本市からのボランティアを募る活動には至りませんでした。また、県社協からの職員派遣要請もありませんでした。

## (2) 東日本大震災に伴う避難者支援

### 【基本的な考え方と方針】

- 東日本大震災時、本市に避難された方々への情報提供や情報収集、避難者同士の交流の開催を通し、関係機関との連携を取りながら、帰還・生活再建や本市での安心した生活ができるよう支援する。

### 【令和3年度事業実績】

#### ①避難者生活支援相談の継続

- \* 訪問活動等を通した課題把握のための聞き取りや月1回発行の「こんにちはだより」による情報提供などを避難者生活支援相談員2名体制で継続して活動しました。
- \* 市危機管理課との連絡会議を7月と翌年3月(新型コロナウイルスのため、書面開催)の2回開催し、連携を図りました。
- \* 3月11日、地域福祉センターにおいて、被災地の追悼と復興を願い、「キャンドルナイト」を市社協役職員により実施しました。同様にキャンドルナイトを実施した東北公益文科大学学生サークル(災害復興支援サークル チーム moreE)に点灯用キャンドルやガラス瓶などの提供を生涯学習施設「里仁館」とともに行いました。

## 6. 相談事業の推進

### 【基本的な考え方と方針】

- 市民生活における困りごとや悩みに対して、地域住民が気軽に相談できる窓口を開設し、相談者が地域で安心して生活できるよう支援する。
- 多様化・複雑化するニーズを的確に受け止め、必要な支援活動に結び付けるための総合的な相談支援体制づくりを進める。

### 【令和3年度事業実績】

#### ①相談事業の適正な実施

- \* 市社協で実施している相談事業間の連携のみならず、多様化・複雑化する課題や制度の狭間の問題に対応する場面が多くなっており、必要に応じて、関係機関・団体などと協働して、相談・支援を実施しました。[再掲]
- \* 相談窓口開設時間内の来所、電話による相談以外でも、ホームページの問い合わせフォームから多くの相談が寄せられており、24時間受付ができる相談窓口として活用されています。

### 【市社協相談事業】

- ・生活自立支援センターさかたによる生活自立相談支援相談
- ・福祉サービス利用援助事業・法人後見事業による権利擁護に関わる相談
- ・東日本大震災被災者に対する避難者生活支援相談
- ・地域福祉センター・各支部での生活の困りごとや地域福祉活動の相談
- ・ボラポートさかたでのボランティア・市民活動相談
- ・地域包括支援センターにいだ、居宅介護支援事業、障がい相談支援事業での相談
- ・酒田人権擁護委員による心配ごと相談(定期開催)

## ②多機関協働による相談体制づくりへの協力

- \* 市が検討を進める重層的支援体制整備のための市役所内ワーキンググループでの協議や同ワーキンググループ内で行われたひきこもり支援団体との意見交換会に市社協も参加し、協議を行いました。

## 7. 介護及び障がい福祉サービス事業の推進

### 【基本的な考え方と方針】

- 介護サービス事業（訪問介護、通所介護、居宅介護支援）、障がい福祉サービス事業（居宅介護、同行援護、障がい児・者相談支援）を実施し、介護を必要とする高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、継続して取り組んで行く。
- 介護サービス事業及び障がい福祉サービス事業は、地域福祉部門を有する社協ならではの特性を活かして、行政や関係機関はもとより、社協内の協力・連携のもとに、利用者の生活課題を包括的に支援する視点を持って事業を実施する。
- 地域包括支援センターでは、地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者に関する総合的な相談業務、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防等への取り組みを通して、担当地域の高齢者や地域の状況把握、地域の支え合い活動を進める。

### 【令和3年度事業実績】

#### (1) 事業共通

##### ①サービスの向上

- \* 介護サービス事業及び障がい福祉サービス事業の実施にあたっては、地域福祉部門を有する市社協ならではの特性を活かして、行政及び社協内の協力・連携のもとに、利用者の課題解決を包括的に支援するという視点を持ちながら事業を実施しています。
- \* 利用者及び家族との十分な意思疎通による信頼関係をつくりながら、利用者一人ひとりの身体状況・生活状況を踏まえた目標設定や自身でできることを尊重した支援計画づくり・サービス提供に努めました。
- \* 介護現場にタブレット等のICTシステムを導入し、記録業務の省力化と利用者情報等の共有を進めることで、業務の改善・効率化を図り、利用者サービスの充実に努めました（例えば、電話や連絡帳で行っていた訪問介護の利用者に関する申し送りやサービス内容の変更等の情報をタブレットや携帯電話アプリで行うことで、複数のヘルパーやケアマネジャーと即時に共有でき、利用者の状況に合わせた適時・適切なサービス提供が可能になりました。）。

##### ②職員の質の向上

- \* 職員の経験や能力、職責に応じた職場内外の研修を通じて、職員の専門性と業務遂行能力の向上に努めました。

##### ③事故防止・災害対策

- \* 介護現場での事故の防止と事故発生時に適切な対応ができるように、事故対応マニュアル等を活用した職員研修を継続して行うとともに、事故の事例を事業所間で共有して再発防止を図りました。
- \* 非常時の事業継続や事業の早期復旧が円滑に行えるよう、「新型インフルエンザ等発生時における事業継続計画」及び「災害発生時における事業継続計画」に基づいて訓練を実施しました。
- \* 自然災害の発生時に、独居や高齢者世帯、障がい者等の孤立を防ぎ、ケアマネジメント



等の支援が迅速かつ適切に行えるよう、医療機関や関係者との連携方法等について検討を行いました。

- \* 新型コロナウイルスの収束が見通せない中、各事業所においては、早期の職員のワクチン接種、こまめな消毒や換気等の基本的な感染防止対策を徹底し、利用者や職員の体調管理にも十分留意しながら業務を実施しました。職員1名の感染がありましたが、慎重な対応により、利用者・職員への感染拡大を防ぐことができました。

#### ④地域共生

- \* 多様な機能や人材を有する社協の特性を十分に活かし、また介護サービスだけでなく、保健・医療・福祉サービス等の社会資源の活用と地域との連携を通して、地域包括ケアの推進に取り組みました。
- \* 飛島に居住している高齢者が安心して在宅での生活が継続できるよう、医療機関や介護サービス事業所、地元関係者等との連携・協力のもとに支援を行いました。

#### ⑤収益の確保

- \* 介護サービス事業の収支については、課題の抽出や分析を行って必要な取り組みを実施するとともに、経費の節減に努め、前年度に続いて黒字とすることができました。

#### ⑥その他の取組み

- \* 新型コロナウイルス感染防止対策並びに業務の効率化を図るために、リモート会議の機器やネットワーク環境を整え、オンライン研修や会議、打合せ等で活用しました。

## (2) 居宅介護支援事業

### ①サービスの向上

- \* 高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、利用者及び家族との十分な意思疎通のもとに、自立支援の観点に立ったケアマネジメントに努めました。
- \* 転送電話を活用し、休日や夜間等の緊急の要件に対して24時間対応しました。
- \* ICT機器の導入により、職員間の情報共有と業務の効率化を図りました。
- \* 飛島を担当する唯一の居宅介護支援事業所として、飛島在住の介護認定者を定期的に訪問し、継続してケアマネジメントを行いました。
- \* 地域包括ケアの推進に向けて、「ちょうかいネット」を活用した医療、その他関係機関の専門職との連携を進めるとともに、地域住民や民生児童委員等との協力のもとに、利用者の生活を支える取り組みを行っています。

### ②職員の質の向上

- \* 内部研修や他の居宅介護支援事業所との合同事例検討会の開催を通じて、職員のケアマネジメント能力の向上を図りました。内部研修では、ICT機器の効果的な活用を図るための研修を繰り返し実施しています。
- \* 職員1名が主任介護支援専門員の資格を取得し、合計5名となりました。
- \* 酒田市主任ケアマネージャー部会の役員として、職員5名が研修会の企画や運営に協力し、酒田市のケアマネージャーの質の向上に努めました。

### ③収益の確保

- \* 介護報酬や認定調査件数の管理を行う担当者を決め、毎月、実績を把握し、目標の件数を維持することで、収益の確保を図りました。
- \* より質の高いサービスを提供した場合に算定される特定事業所加算算定の要件ⅠまたはⅡを事業所内で共有し、継続することで収益の確保を図っていきます。

## ◆ケアマネージャー管理件数

(単位：件)

区分	平 28 年度	平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度
要介護 1. 2	2, 480	2, 559	2, 480	2, 532	2, 385	2, 331
要介護 3. 4. 5	1, 295	1, 396	1, 295	1, 541	1, 654	1, 583
予防支援	320	281	320	189	139	179
認定調査	325	363	325	395	173	232
計	4, 420	4, 599	4, 420	4, 657	4, 351	4, 323

## (3) 特定相談支援事業、障がい児相談支援事業

## ①サービスの向上

\* 障がい者自身が望む自立した生活ができるよう、自己決定への支援を行い、適切なサービス等利用計画の作成とサービス提供につなげるように努めました。

\* 障がい者の抱える悩みや相談に対しては、傾聴の姿勢で臨み、地域福祉課や関係機関と連携を図りながら支援を行いました。

## ②職員の質の向上

\* 精神障がい者支援の専門研修の受講や酒田市自立支援協議会相談支援部会の事例検討会等への参加を通じて、ケアマネジメント能力の向上を図りました。

## ③収益の確保

\* 精神障がい者及び強度行動障がい者に係る相談支援専門員の配置により、報酬の加算体制を整え、新規の計画相談を積極的に受け入れました。

## ◆障がい児・者サービス等利用計画管理件数

(単位：件)

区分	平 28 年度	平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度
利用計画作成	87	73	87	71	75	89
モニタリング	70	68	133	168	190	203
計	157	141	220	239	265	292

## (4) 訪問介護事業

## ①サービスの向上

\* 介護を必要とする高齢者が、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むことができるよう、一人ひとりの身体状況や生活状況を踏まえながら、利用者に寄り添ったサービス提供を行いました。

\* 介護保険事業と介護予防・日常生活支援総合事業（訪問A型）、生活支援訪問介護事業を実施し、利用者の状況やニーズに合わせたサービス提供を行いました。

\* 訪問先でのタブレット入力や携帯電話アプリによる申し送り事項の共有等、ICTシステムの活用によって業務の効率化と情報共有を図り、サービスの向上に努めました。

\* 視覚障がい者の同行援護のニーズに応えるため、職員の資格取得を支援し、新たに2名が資格を取得し、合計12名となりました。

## ②職員の質の向上

\* 定期的な内部研修会の他、外部研修に参加した職員が、研修で学んだ知識や技術を内部研修会で報告・共有することで、ヘルパー全体の介護能力の底上げを図りました。

\* 多様な年代のヘルパーを採用し、希望する時間帯で仕事ができるようにするなど、働

きやすい職場づくりを進めて、ヘルパーの確保と定着を図りました。

### ③事故防止・災害対策

- \* 緊急時にヘルパーへの連絡・指示がスムーズに行われるよう、ICT活用の勉強会を行いました。
- \* 新型コロナウイルス感染防止のため、防護服等の整備や内部研修での着脱訓練を行い、職員の感染防止対策に取り組みました。

### ④収益の確保

- \* ヘルパーの人員確保を図るとともに、新規の利用者の受け入れを行い、収益の確保に努めました。

#### ◆訪問介護利用件数

(単位：件)

区分	平28年度	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
介護保険	16,675	15,103	10,650	11,871	12,005	13,007
総合事業※	-	759	1,527	1,892	2,095	2,321
障がいサービス	6,436	3,913	3,501	2,712	3,515	3,833
有償サービス	483	342	336	282	261	381
計	23,594	20,117	16,014	16,757	17,876	19,542

※介護予防・日常生活支援総合事業

## (5) 通所介護事業（デイサービスセンターいずみ、松山）

### ①サービスの向上

- \* 業務内容や作業手順、役割分担等の見直しによる業務改善を通じて、業務の効率化とサービスの質の向上を図りました。
- \* ミーティングやカンファレンスを開催して、随時、支援内容の見直しを図る等、利用者に寄り添ったきめ細かなサービス提供に努めました。
- \* QOL（生活の質）の向上を図るとともに、デイサービスでの時間をより楽しんでもらい、生きがいにもつなげてもらえるよう、脳活トレーニングやレクリエーション等の提供サービスの見直しを図りました。
- \* デイサービスでの時間をより楽しんでもらい、生き甲斐にもつながるよう、利用者の生活歴や能力などを踏まえながら、レクリエーション等の提供サービスの見直しを行いました。
- \* 認知症対応型については、パーソン・センタード・ケア（その人を中心としたケア）を意識し、個々の利用者の特性や状態に応じた、専門的できめ細かなケアを行うことを心掛けました。
- \* 連絡帳による状況報告や送迎時の積極的な会話等を心掛けて、利用者及び家族との意思の疎通を図り、良好な信頼関係づくりに努めました。
- \* 食事については、強みである地元の食材を使用した季節感のある手作りの食献立とともに、利用者個々の身体状況に合わせた形態の食事を提供し、多くの利用者に喜んでいただきました。
- \* サービスの向上と改善を図るために実施した利用者満足度アンケートでは、送迎、入浴、食事、接遇については、一定の評価をいただきました。やや満足度の低かったレクリエーションや行事については、今後、見直しを図り、さらに満足度の高いサービスが提供できるように努めていきます。

## ②職員の質の向上

- \* 毎月開催の内部研修で介護業務の能力向上に努めるとともに、職種毎の外部研修に参加して専門的な知識や技術の習得に努めました。
- \* 自己評価シートの活用により、職員自身が介護技術や知識レベルを確認したうえで個人目標を設定し、計画的にレベルアップを図りました。
- \* 利用者の虐待防止やコンプライアンス順守について、職員の意識を高めました。

## ③事故防止・災害対策

- \* 安全安心な送迎ができるよう、安全運転の心構えの唱和やアルコールチェック等の体調確認を実施するとともに、乗車前の利用者の体調確認や運行時の声掛け、楽しい車中づくり等を実践しました。
- \* 災害時に迅速かつ的確な対応ができるよう、利用者の参加を得て、火災及び地震、水害を想定した避難訓練を実施し、職員の防災意識を高めました。

## ④地域共生

- \* 地域行事への参加やボランティアの受け入れ、保育園、小中高生との交流等については、新型コロナウイルスの影響で叶いませんでしたが、引き続き地域に密着した信頼される施設となるよう努めていきます。

## ⑤収益の確保

- \* 事業所の紹介パンフレットや広報誌を作成して、利用者の家族や居宅介護支援事業所等に配付し、情報発信を行いました。「利用者が楽しんでいる様子が分かる」、「事業所の特徴が分かりやすい」、「新規利用者への提案がしやすくなった」等、利用者増に繋がる反応がありました。

## ⑥その他の取組み

- \* 手すりの設置やベッド柵等の更新、老朽化した設備の修繕等を行い、利用者が安全で快適に過ごせる施設づくりに努めました。

### ◆デイサービス利用件数

(単位：件)

区分		平28年度	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
い ず み	介護保険	6,864	6,043	4,545	5,177	5,168	5,624
	総合事業	-	533	856	825	539	387
	計	6,864	6,576	5,401	6,002	5,707	6,011
松 山	介護保険	4,747	4,252	3,818	4,102	3,991	4,098
	総合事業	-	598	485	560	386	414
	計	4,747	4,850	4,303	4,662	4,377	4,512

### ◆認知症デイサービス（いずみ）利用件数

(単位：件)

区分	平28年度	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
介護保険	1,980	2,614	2,196	2,142	1,862	1,357

## (6) 地域包括支援センター事業（浜田学区、若浜学区、飛鳥地区）

地域包括支援センターにいだでは、地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者に関する総合的な相談業務、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防等への取り組みを通して、担当地域の高齢者や地域の状況把握、地域の支え合い活動を進めました。

### ①サービスの向上

\* 複雑化、多様化した課題を抱えるケースに対して、社協の強みである各部署との連携・協力に加えて、行政や医療機関など様々な機関や地域とも連携し、課題解決に向けて丁寧な支援を行いました。

\* 令和3年度から、「包括にいだ便り」を年4回発行し、地域で行われているサロン活動の様子やセンターの業務内容、ちょっとした役に立つ情報などを、地域の回覧板を活用して発信しました。

## ②職員の質の向上

\* 新型コロナウイルス感染拡大によりオンラインが中心となりましたが、積極的に研修会などに参加し、職員間で成果を共有するなど職員全体の専門性の向上を図りました。

## ③地域共生

\* 感染症対策を十分に行ったうえで、自治会単位での地域ケア会議を開催し、地域と顔の見える関係づくりを進め、さらなる信頼関係の構築に努めました。

\* 地域の支え合い体制づくりに向けた話し合いの場に参加し、地域と一緒に課題解決に向けた検討を行いました。

\* 障がい福祉サービス事業所が手作りのお弁当やお菓子を販売する「満福市にいだ」を新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、注文販売に切り替えて支援しました。

## ④その他の取組み

\* 社会福祉士を目指す大学生や看護学生の実習受入れを行うとともに、職員が新たに社会福祉士実習指導者研修を受講し、受入れ体制の充実を図りました。

### ◆地域包括支援センター相談件数

(単位：件)

区分	平28年度	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
総合相談	1,568	3,087	3,477	1,854	1,651	2,164
権利擁護関係	61	30	14	161	100	52
包括的・継続的	216	243	145	302	343	378
介護予防	128	170	92	87	63	888
計	1,973	3,530	3,728	2,404	2,157	3,482

### ◆介護予防支援件数

(単位：件)

区分	平28年度	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度
プラン作成、調整	3,074	2,928	2,359	3,651	4,000	2,821

## 8. 顕彰、慰霊事業の実施

### 【基本的な考え方と方針】

- 長年、地域福祉活動に尽力された方々の功績を讃え、地域における福祉活動の意識向上を図る。
- 先の大戦において亡くなられた方々を慰霊し、平和を願い、戦争の悲劇を風化させることなく、平和の尊さを後世に伝える。

### 【令和3年度事業実績】

#### ①顕彰事業

\* 11月30日、総合文化センターにおいて、酒田市前田福祉賞、社協表彰を開催しました。令和3年度の社協表彰は、表彰者35名、感謝状贈呈11名、1団体で、長年のご功績、ご協力に対し、感謝の意を表しました。(10月22日 社協表彰審査委員会)

\* 第71回山形県・県民福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

したが、市関係者では、大会会長表彰を16名が受賞しました。

- \* 全国社会福祉協議会会長表彰の民生委員・児童委員功労者を2名、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰の社会福祉事業従事者として1名、中央共同募金会会長表彰に1団体がそれぞれ受賞しました。

## ②慰霊事業

- \* 例年行っている戦没者追悼式は、新型コロナウイルス感染拡大により中止としましたが、アメリカで見つかり、日本遺族会経由で平田遺族会がお預かりしていた平田出身の戦没者の遺品（日章旗）をご遺族に返還する式典を開催しました（9月22日）。式典当日は、新型コロナウイルス感染防止のため、市長、ご遺族、各遺族会会長等、少人数の方からご参列いただき、市長からご遺族に対し、遺品を返還しました。

## 9. 第4期地域福祉活動計画の策定

### 【基本的な考え方と方針】

- 第3期地域福祉活動計画（平成28年度～令和2年度）の次期計画として第4期地域福祉活動計画を策定し、広く関係機関・団体及び住民に周知を図る。
- 地域福祉活動計画（活動計画）は、市社協が進める地域福祉活動の行動指針であり、市が策定する地域福祉計画と整合性をとりながら、計画に基づいた活動を展開する。

### 【令和3年度事業実績】

#### ①計画策定のための体制づくりなどについて

- \* 新型コロナウイルス感染拡大のため、策定作業が遅れ、令和3年度より計画期間の開始を予定していた第4期活動計画は、令和4年度～令和8年度の5年間を計画期間として、令和4年3月に完成しました。
- \* 市が策定する地域福祉計画と一体的に活動計画も策定することから、双方の計画の策定方針や計画推進のための役割等について、随時、市福祉課と協議を行いながら進めました。
- \* 第3期活動計画策定の際、市社協で設置していた「地域福祉活動計画策定委員会」を今回は設置せず、市が策定する第4期地域福祉計画の「酒田市地域福祉計画策定に関する懇話会」において、第4期活動計画をあわせて協議していただくこととし、全3回の懇話会にて、地域福祉を進める関係機関・団体から意見、要望をいただきました。なお、懇話会に提出した資料に基づき、市社協理事会、評議員会に随時、報告しながら、令和4年3月に議案として提出し、承認を得ました。
- \* 活動計画策定の事務局として、市社協内に役職員をメンバーとする策定プロジェクトチームを編成し、地域福祉課、介護サービス課、総務課の枠を超え、全10回のプロジェクト会議の開催、そこでの協議を経て、事務局案のとりまとめを行いました。

#### ②計画への市民の意見や要望の反映について

- \* 令和2年度に実施した「地域福祉に関するアンケート調査」の結果報告と地域の意見や要望を聴取する「意見聴取会」を市福祉課と協力して、全学区・地区社協で実施しました（令和3年3月～8月実施。一部の学区・地区社協では新型コロナウイルス感染拡大のため書面開催）。
- \* 広く住民の意見を計画に反映するため、令和4年2月から3月までの間、第4期活動計画（案）への意見公募（パブリックコメント）を実施しましたが、意見提出はありませんでした。

## 10. 適正な法人運営と組織体制の充実

### 【基本的な考え方と方針】

- 市社協は、公的な性格を持つ民間福祉団体（社会福祉法人）であり、公益性の高い組織にふさわしい法人運営体制を確立する。
- 限られた職員で年々拡大・深化する業務に対処するため、事務の効率化や組織内連携・職員間連携を強化するとともに、研修等を通して職員の質の向上を図る。さらに、職員のチームワーク力を基盤に「地域とともに考え、行動する市社協」を目指していく。
- 広報紙、ホームページ等、様々な手段を使って、市社協の財政状況、事業活動の状況等を情報提供し、説明責任を果たすとともに、福祉を取り巻く動向、課題について、情報発信をする。

### 【令和3年度事業実績】

#### ①法人運営会議の開催

- \* 令和3年度は、理事・評議員の改選期となり、あらためて各団体等から理事、監事、評議員の推薦をいただき、引き続き、社会福祉法人として適正な法人運営に努めました。また、6月に実施した市監査の指摘を受けて、令和2年度新・草の根事業補助金の取扱いについて、9月6日に臨時の理事会を開催（書面評決）し、令和2年度の当該補助金を令和3年度に繰越することを認めました。

#### 《主要な法人運営関連の会議等の開催状況》

- ・ 正副会長会議 4回
- ・ 理事会 5回（うち書面評決1回）
- ・ 評議員会 3回
- ・ 社協監査 1回
- ・ 各部会 2回（うち書面開催1回、共同募金部会は3回開催）
- ・ 評議員選任・解任委員会 1回

#### ②職員の資質向上への取組み

- \* 職場内研修や外部研修への積極的な参加を促すとともに、資格取得のための支援を行いました（地域共創コーディネーター養成研修、主任ケアマネ研修、障がい者相談支援従事者研修、成年後見人材育成研修、福祉教育推進員研修、高齢者疑似体験インストラクター研修等）。
- \* 地区担当制（地域福祉課）を通して地域との関わりを深めるとともに、地域でのワークショップ参加、出前講座の講師役を務める等、取り組みました。

#### ③財源の確保と基金の有効活用

- \* 貴重な自主財源である社協会費及び共同募金については、理解と協力をいただくよう市社協事業、地域福祉事業のPR活動に努めました。
- \* 災害復興資金たすけあい基金については、これまでの経過や現状を踏まえ、原資を市に対しお返しするとともに、一部は市社協の社会福祉基金に積み立てました。この結果、災害復興資金たすけあい基金は、令和3年度で廃止しました。

#### ◆社協会費の納入状況

（単位：件、円）

種類	令元年度		令2年度		令3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人会費（戸別会費）	28,672	14,336,000	28,398	14,199,000	28,359	14,180,700
団体会費	48	160,000	48	160,000	46	182,000
特別会費	318	477,000	319	478,500	318	477,000
合計	29,038	14,973,000	28,765	14,837,500	28,723	14,839,700

#### ④広報活動の充実

- \*「会報ふれあい」を年3回発行しました。より多くの人に見ていただけるように、会報編集委員会を設け、広く意見をいただいたほか、酒田市視覚障害者福祉協会から「声の会報」(CD)を作成していただきました。
- \*広報紙以外にも、ホームページ、SNS(フェイスブック、ツイッター)等の活用や地域での会議等を通して、情報が幅広く周知されるよう努めました。
- \*「ボラポートさかた通信」を年9回発行したほか、今年度からボラポートさかたのさらなる認知度アップ、ボランティア情報を多くの方に届けることを目的にInstagramアカウントを開設しました。登録団体の活動紹介やイベント・研修会の様子等を写真付きで投稿することで、活動の雰囲気が伝わるよう工夫しました。[再掲]
- \*令和3年度から「包括にいだ便り」を年4回発行し、地域で行われているサロン活動の様子やセンターの業務内容、ちょっとした役に立つ情報などを地域の回覧板を活用して、発信しました。[再掲]

#### ⑤施設の適正な管理と市福祉バス等の安全な運行

- \*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染状況に応じた会議室やバスの利用制限、定員の制限、消毒、換気等を徹底し、安全な施設利用、バス利用に努めました。
- \*地域福祉センター入居団体による地域福祉センター運営委員会を開催したほか、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた対応について、その都度通知する等、安全・適切な施設利用の周知を図りました。
- \*市社協に寄贈された車椅子を貸出することで、急な怪我や病気等で車椅子を必要する方々の利便性を図りました(貸出は、八幡、松山、平田支部でも実施)。

#### ⑥地域の特性を活かした支部の地域福祉活動と団体活動の支援

- \*各支部には正職員1名、地域福祉専門員1名、事務員1名の計3名が配置されていますが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から生活困窮による相談者、生活福祉資金借入の相談者が大きく増加したため、令和3年度は緊急対応として、平田支部の職員を生活自立支援センターに配置換えを行い、松山支部と平田支部の正職員は兼務体制で業務を行いました。
- \*このような体制の中、管内各地区社協の活動や関係福祉団体の活動の支援を行うほか、各支部・地区社協の地域特性等を活かした地域福祉活動に取り組みました。

##### 【八幡支部】

- \*八幡支部では、新たに市総合支所と地域包括支援センターやわたとの協働の取り組みとして、地域における通いの場の継続および立ち上げを支援する「やわたけんこうプロジェクト」を立ち上げ、他機関と協働し、地域の支援を行いました。
- \*ミニデイサービスについては、市内での新型コロナウイルス感染状況により、なかなか開催することができませんでしたが、時短での開催など工夫を図りながら計9回実施しました。

##### 【松山支部】

- \*松山支部においては、市総合支所、地域包括支援センターまつやま、ロコモ予防隊と連携して、健康づくりを行う「松山いきいきくらぶ」を7回開催し、合わせて小規模作業所の商品販売会「満福市」を開催し、外出の機会確保、閉じこもり防止を図りました。また、男性の仲間づくりや地域活動への担い手づくりのため、料理教室「おとこかれーくらぶ」を7回開催しました。



### 【平田支部】

\*平田支部では、地域包括支援センターひらたと合同で、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、現在の困りごと、生活状況や健康状態等を把握し、必要な福祉サービスの情報提供を行いました。また、東陽地区の75歳以上の方を対象に、日頃の生活の様子や困りごとを把握するため、高齢者向けアンケート調査を実施しました。アンケート結果を見ると「5年後ぐらいに困りごと（買い物、通院等の移動、除雪など）が増える。」という不安の声が多く出されています。

## むすびに

以上が、令和3年度の事業実績の概要です。事業実施にあたりまして、多大なご協力を賜りました皆様方に、重ねて感謝申し上げます。

冒頭申し上げたとおり、新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、経済面だけでなく、地域福祉推進という視点でも、厳しい状況に直面しております。人流の抑制、外出の制限等により、人が集まる機会の減少は、地域福祉の根幹である“人と人のつながり”を揺るがしかねない重大な事態であります。

関係の皆様には、日ごろから市社協事業について、できる活動を工夫しながら取り組むなど、様々な面でご協力をいただいておりますが、新型コロナウイルス感染防止のため、一部事業を短縮、自粛いただくなど、地域福祉活動に影響が出ています。

一日も早い感染の収束、平和な世界を祈りつつ、引き続き、市社協は「福祉でまちづくり」を進めるため、地域、市民の皆様、福祉団体・関係者、事業者、行政等とのつなぎ役、「支え合いの要」であることを意識し、自らも実践することで、その役割を果すよう取り組んでいきますので、これまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各事業の詳細は、次のページからの事業実施概要（付属資料）に記載していますので、ご参照をお願いいたします。



令和3年度  
事業実績概要  
(付属資料)

自 令和3年4月 1日 至 令和4年3月31日

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

## 新・草の根事業

学区地区 社 協	見守りネットワーク支援事業			合同研修事業		ふれあい給食事業		地域あんしん事業	地域交流サロン事業	
	ネットワーク 対象者数	福祉 隣組数	福祉 協力員数	回数	延人数	回数	延人数	回数	回数	延人数
琢 成	285	192	20	1	61	8	531	145	88	1,185
浜 田	166	103	30	1	60	6	284	38	93	2,387
若 浜	60	53	15	2	111	7	385	24	91	567
富士見	49	50	11	0	0	6	306	6	8	99
亀ヶ崎	76	78	18	3	111	4	302	28	11	169
松 原	101	93	17	1	58	4	99	34	12	204
港 南	41	29	9	0	0	9	451	9	2	18
松 陵	82	49	15	2	74	9	382	36	34	915
泉	25	28	12	2	70	7	64	24	18	890
宮野浦	36	34	16	1	25	6	396	0	11	798
飛 島	32	12	4	1	16	3	89	20	12	361
西荒瀬	32	36	24	0	0	12	264	11	24	423
新 堀	35	48	11	3	71	5	137	24	17	630
広 野	18	22	13	1	35	6	71	24	14	420
浜 中	15	14	8	2	26	2	46	24	7	97
黒 森	20	2	7	2	44	2	64	11	8	1,256
十 坂	38	37	10	2	52	4	84	24	96	1,700
東平田	71	38	4	2	29	10	95	24	52	627
中平田	19	7	8	2	45	13	116	24	18	240
北平田	24	10	14	3	83	5	80	24	11	120
上 田	21	19	11	3	46	5	57	96	16	201
本 楯	27	27	19	2	59	6	168	16	12	625
南遊佐	45	45	10	2	6	5	100	24	10	128
小 計	1,318	1,026	306	38	1,082	144	4,571	690	665	14,060
一 條	30	28	30	1	30	1	75	23	29	283
観音寺	38	39	43	1	39	3	177	25	23	715
大 沢	22	21	14	1	104	2	106	19	15	161
日 向	29	28	24	4	97	6	274	45	36	307
小 計	119	116	111	7	270	12	632	112	103	1,466
南 部	12	20	7	2	35	7	103	11	63	674
山 寺	7	5	3	2	37	6	75	11	19	308
松 嶺	50	64	14	2	40	6	151	11	3	90
内 郷	42	54	12	2	50	7	112	11	3	140
小 計	111	143	36	8	162	26	441	44	88	1,212
田 沢	56	35	6	2	38	3	325	24	32	208
東 陽	88	29	13	5	104	3	48	12	71	491
郡鏡・山谷	50	14	13	2	38	2	30	35	61	509
南平田	54	15	23	2	30	1	19	36	12	103
砂越・砂越緑町	69	51	3	2	52	2	60	21	108	1,535
小 計	317	144	58	13	262	11	482	128	284	2,846
合 計	1,865	1,429	511	66	1,776	193	6,126	974	1,140	19,584

## 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金活動

### (1) 共同募金収納実績 (単位：円、%)

委員会名	目標額	実績額	達成率	未達成額
酒田市委員会	12,508,000円	11,643,004円	93.08%	△864,996円

### (2) 歳末たすけあい募金収納実績 (単位：円、%)

委員会名	目標額	実績額	達成率	未達成額
酒田市委員会	4,000,000円	3,918,050円	97.95%	△81,950円

### (3) 共同募金助成内訳

A助成（山形県共同募金会で決定される、施設、団体への助成）4,339,000円

B助成（社協への地域福祉活動助成）5,038,027円

C助成（前年度歳末たすけあい募金による助成を実施した後の余剰金）805,988円

#### ① A助成

<p>社会福祉法人保育事業「福祉の心」（11団体）660,000円</p> <p>*酒田報恩会保育園、*若浜保育園、*宮野浦保育園、*新堀保育園、*広野保育園、*浜中保育園、*黒森保育園、*若宮保育園、*西荒瀬保育園、*北平田保育園、*酒田ふたば園</p> <p>（辞退：小鳩保育園、亀ヶ崎保育園、泉保育園、北新橋保育園、十坂こども園、アテネ認定こども園）</p>
<p>福祉車両整備事業（1団体）1,500,000円</p> <p>*十坂こども園</p>
<p>障がい者小規模作業所支援事業（3団体）390,000円</p> <p>*支援センターなのはな畑、*多機能福祉施設こもれば、*多機能福祉施設日本海</p>
<p>民間学童保育所支援事業（7団体）1,000,000円</p> <p>*若浜学区学童保育所、*亀ヶ崎学区第1学童保育所、*亀ヶ崎学区第2学童保育所、*松陵学区学童保育所、*泉第2学童保育所、*十坂学区学童保育所、*八幡学童保育所</p>
<p>地域在宅・特別在宅事業（4団体）429,000円</p> <p>*ちょうかい子育て応援団、*松陵学区社会福祉協議会、*亀ヶ崎社会福祉協議会、*酒田市青少年を伸ばそう市民会議</p>

#### ② B・C助成

<p>福祉育成援助活動費（6団体及び市社協事業）4,360,063円</p> <p>*酒田市民生委員・児童委員協議会連合会、*酒田市自治会連合会</p> <p>*酒田市ボランティア連絡協議会、</p> <p>*酒田市八幡遺族会、*酒田市遺族会松山支部、*酒田市平田遺族会</p> <p>*酒田市社会福祉協議会</p>
--

<b>高齢者福祉活動費（４団体） 339,000 円</b> ＊酒田市老人クラブ連合会酒田支部 ＊酒田市老人クラブ連合会八幡支部 ＊酒田市老人クラブ連合会松山支部 ＊酒田市老人クラブ連合会平田支部
<b>児童・青少年福祉活動費（７団体） 310,000 円</b> ＊NPO法人がくほれん with 酒田 ＊6 法人保育園
<b>障がい児（者）福祉活動費（14 団体） 745,800 円</b> ＊NPO 法人酒田市障がい者福祉会 ＊八幡身体障害者更生会 ＊松山障がい者福祉会 ＊平田身体障害者福祉協会 ＊酒田手をつなぐ育成会 ＊八幡手をつなぐ育成会 ＊松山・平田手をつなぐ育成会 ＊社会福祉法人酒田市あすなる福祉会 ＊NPO 法人支援センターふれあい工房 ＊NPO 法人障がい者サポートセンター あらた ＊NPO 法人みつば ＊NPO 法人支援センターなのはな畑 ＊酒田飽海鍼灸マッサージ師会 ＊NPO 法人みらいず
<b>母子・父子福祉活動費（1 団体） 89,152 円</b> ＊酒田市母子福祉ねむの木会

(4) 歳末たすけあい募金助成内訳

①低所得世帯へとその児童への助成

(単位：世帯、人、円)

世帯人数	酒田支部		八幡支部		松山支部		平田支部	
	件数	単価	件数	単価	件数	単価	件数	単価
1人世帯	56	3,000	25	5,000	22	5,000	40	5,000
2人世帯	123	4,000	7	6,000	10	7,000	11	6,000
3人世帯	99	5,000	15	7,000	0	10,000	8	7,000
4人以上	92	7,000	10	8,000	3	12,000	9	8,000
児童への贈り物	413	1,000	31	1,000	10	3,000	25	1,000
合計	783	2,212 千円	88	383 千円	45	246 千円	93	419 千円
戸別募金額	100		300		300		300	

②歳末たすけあい地域福祉事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

※令和3年度の歳末たすけあい募金による助成合計額は、3,260,000円（3年度歳末たすけあい募金実績3,918,050円との差額 658,050円は4年度のC助成）

## 赤十字活動

### (1) 社資納入状況

年度	目標額	実績額	達成率
令和3年度	20,685,000円	18,287,065円	88.4%
令和2年度	20,685,000円	18,730,427円	90.6%

### ○社資納入実績内訳

一般社資		法人社資		計
会費	寄付金	会費	寄付金	
7,078,900円	11,197,225円	0円	10,940円	18,287,065円
18,276,125円		10,940円		

\*会費とは、日本赤十字社の会員（住所、氏名が明確な方）として納めていただく納付金のことで、日赤山形県支部では、年額700円以上と定めている。住所・氏名が明確でない場合、または、納付金が700円未満の場合は、寄附金扱いとしている。

### ○支部別実績及び交付金

支部名		酒田支部	八幡支部	松山支部	平田支部	計
実績額		15,142,565円	1,121,400円	857,500円	1,165,600円	18,287,065円
件数	会費扱い	6,576件	1,602件	0件	1,669件	9,847件
	寄附扱い	144件	0件	42件	0件	186件
	計	6,720件	1,602件	42件	1,669件	10,033件
交付金		1,514,254円	112,140円	85,750円	116,560円	1,828,704円

### (2) 災害救援事業（被災状況及び見舞金、救援物資の交付状況）

区分	件数 (件)	被災者(人)	見舞金額(円)	救援物資		
				毛布	緊急セット	学用品
全焼	1	1	40,000	1	1	0
半焼	1	1	20,000	0	0	0
部分焼	0	0	0	0	0	0
ぼや	0	0	0	0	0	0
災害死亡者弔慰金		0人	0円			

### (3) 義援金の受付（令和3年4月1日～令和4年3月31日まで）

総額 243,454円

#### 【内訳】

- ・平成30年7月豪雨災害義援金 ( 6,182 円)
- ・令和2年豪雨災害義援金 ( 10,900 円)
- ・令和3年8月豪雨災害義援金 ( 7,375 円)
- ・令和3年長野茅野市土石流災害義援金 ( 2,115 円)

- ・ウクライナ人道危機救援金 ( 14,466 円)
- ・令和3年台風9号等災害義援金 ( 9,080 円)
- ・令和3年7月大雨災害義援金 ( 150,074 円)
- ・令和3年2月福島県沖地震災害義援金 ( 43,262 円)

#### (4) 各種団体への助成

団体名	酒田市地区からの助成額	山形県支部からの助成額	主な活動
酒田市赤十字奉仕団	—	80,000 円	地域奉仕活動等
酒田市本楯赤十字奉仕団	—	80,000 円	清掃ボランティア等

#### (5) 献血実施状況

確保目標	(人)	受付(人)	採血(人)	達成率(%)
200 ml	2	69	63	3150.00
400 ml	2,049	2,906	2,614	127.57
—	820,000ml	—	1,058,200ml	129.05

#### (6) 青少年赤十字加盟校に対する衛生用品の配布

これまで青少年赤十字加盟校に対し、助成金を交付して活動支援をしてきましたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、健康な学校生活を送れるよう、学校で必要とする衛生用品（除菌ウェットティッシュ、非接触型体温計、生理用品等）を現物支給しました。（小学校2校、中学校1校、高校2校）

#### (7) 献血実施状況

確保目標	(人)	受付(人)	採血(人)	達成率(%)
200 ml	1	69	59	5,900.00
400 ml	1,988	2,721	2,524	126.96
—	795,400ml	—	1,058,200ml	133.04

#### (8) その他の活動

- ・弔辞、奉呈事業資材（ローソク）の配布 随時
- ・ワンタッチテントの貸し出し（ワクチン接種会場） 2件  
※災害発生時に実働的かつ迅速な救護活動の展開を図るため災害救護活動器材として県支部よりワンタッチテント1張りを配備されました。
- ・酒田市赤十字奉仕団（酒田市民生委員・児童委員協議会連合会）主催で赤十字防災セミナー実施 令和3年11月24日 34名参加
- ・酒田市社会福祉協議会職員の救急法・心肺蘇生法（AED体験）講習実施 令和3年9月16日 15名参加 9月17日 14名参加



## 2 高齢者、障がい者等の権利擁護

### 福祉サービス利用援助事業

(相談内容別件数)

相談内容／相談件数	R3	R2	R元	H30
福祉サービスの手続援助	24	56	66	59
金銭管理	770	705	694	755
書類等預かり	2	29	10	27
保健サービス	0	1	0	0
医療機関	1	17	11	12
福祉サービス苦情	0	0	0	0
生活設計	104	34	26	23
本事業関係	274	142	83	104
成年後見制度に関する相談	23	27	19	15
その他	53	69	151	61
合計	1251	1080	1060	1056

#### ○契約内容別件数

##### ・契約種別件数

継続	126	130	121	109
新規	37	16	30	27
解約	24	20	21	15
計	139	126	130	121

##### ・契約者状況別件数

認知症等高齢者	78	72	76	70
精神障がい者	34	26	29	27
知的障がい者	21	21	18	18
その他	6	7	7	6
計	139	126	130	121

##### ・世帯類型別件数

在宅独居	39	40	43	38
在宅同居	20	16	11	10
医療機関	11	9	13	12
老人保健施設	8	6	6	6
特別養護老人ホーム	4	3	5	6
グループホーム	28	22	20	19
ケアハウス	7	7	7	6
有料老人ホーム	11	14	17	17
その他	11	9	8	7
計	139	126	130	121

##### ・援助内容別件数(延べ件数)

福祉サービス利用援助	139	126	130	121
日常的金銭管理サービス	139	126	130	121
書類等預かりサービス	136	124	128	119
計	414	376	388	361

##### ・解約事由別件数

成年後見制度利用	5	1	2	5
施設入所・移行	1	5	2	0
死亡	12	6	12	4
親族への移行	1	4	3	3
本人へ返却	4	3	1	2
その他	0	1	1	1
計	23	20	21	15

## 成年後見事業

民法に定められた成年後見制度で、山形家庭裁判所酒田支部からの成年後見事件について法人として成年後見人の受任を行うもの。

加齢や障がいなどにより判断能力が低下した者の契約手続きなど、法律行為を代理し本人の権利を擁護する事業。

### ・業務審査委員会及び受任検討委員会開催状況

令和3年9月28日（火）第1回受任検討委員会 事案1件  
 令和3年10月5日（火）第2回受任検討委員会 事案1件  
 令和3年10月15日（火）第3回受任検討委員会 事案1件  
 令和3年11月1日（月）第4回受任検討委員会 事案1件  
 令和3年12月6日（木）第5回受任検討委員会 事案1件  
 令和3年12月23日（木）第6回受任検討委員会 事案1件  
 令和4年3月16日（水）成年後見業務審査委員会

### ・受任状況

	件数合計	保佐	補助	後見
令和3年度新規受任件数	6	0	1	5
終了件数	2	0	1	1
現在受任件数	16	1	0	15

## 3 低所得者支援

### 生活困窮者自立支援事業（生活自立支援センター）

新規相談受付数（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
男性	141	4	7
女性	108	7	3
合計	249	11	10

年齢層（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
～10代	0	0	0
20代	20	2	1
30代	39	2	1
40代	47	2	1
50代	34	2	4
60～64歳	20	2	1
65歳以上	56	0	2
不明	33	1	0
合計	249	11	10

相談対応（延）	酒田市	庄内町	遊佐町
来所面談	1 1 5 3	6	3 0
訪問	8 3	3 2	8
電話・連絡	2 0 7 4	1 0 1	5 1
同行	6 5	8	2
メール等	3 8 0	1 2	3
合 計	3 7 5 5	1 5 9	9 4

相談内容（延）	酒田市	庄内町	遊佐町
病気、健康、障がい	9 3	5	1
住まい	7 7	3 5	1 3
収入・生活費	2 5 8 5	6 4	2 5
家賃・ローン	1 6 3	0	0
税金・公共料金	1 1	0	0
債務	1 1 8	0	0
仕事探し・就職	5 9 3	5 9	6 3
地域との関係	1 3	0	1
家族関係	6 1	4	2
ひきこもり・不登校	4 3	0	0
DV	1	0	0
食べるものがない	9 5	1	0
虐待	0	0	0
介護	2	0	0
教育資金	1 8 4	0	0
子育て	6	0	0
ゴミ屋敷	0	0	0
ペット	1 3	0	0
ギャンブル・ドラッグ・お酒	1	0	0
その他	8 4	1 4	1
生活福祉資金に関すること	2 0 2 5		
合 計	6 1 6 8	1 8 2	1 0 6

支援調整会議	酒田市	庄内町	遊佐町
支援調整会議開催数（回）	4	2	0
新規支援プラン数	10	1	0
支援期間延長プラン数	0	2	0
支援プラン終結数	6	1	0

就労支援状況（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
就職決定者	65	6	6
増収した者	0	0	0

フードバンク	酒田市	庄内町	遊佐町
食品提供者（人）	196	15	1

### 生活福祉資金貸付事業

資金種別	受付件数	決定件数	備 考
総合支援資金	0	0	
福祉資金	4	3	・1件取り下げ
緊急小口資金	3	2	・1件取り下げ
教育支援資金	7	7	
要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	1	1	
緊急小口（コロナ）特例	135	134	・うち2件は追加申請 ・1件取り下げ ・うち3件はR4年度決定
総合支援資金（コロナ）特例	119	118	・1件取り下げ ・うち2件はR4年度決定 ・118件のうち16件はその後に延長申請決定
〃 再貸付	88	87	・1件取り下げ

### たすけあい資金貸付事業

貸付件数	貸付額	返済件数 (過年度含)	返済額
87	3,167,400	252	3,471,508

## 4 ボランティア等市民活動の振興と支援

### ボランティア・公益活動センターの運営

#### (1) ボランティア・公益活動推進委員会の開催

##### ○第1回（4月26日）

- ・酒田市公益活動推進アクションプランの進捗状況について
- ・令和2年度事業報告について
- ・令和3年度事業計画（案）について

##### ○第2回（2月10日～18日）

##### ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催

- ・令和3年度事業の進捗状況について
- ・令和4年度事業計画（案）について
- ・令和4年度実施予定の公益活動団体協働提案負担金採択事業について

#### (2) ボランティア・公益活動に関する普及・啓発、人材育成、交流等

##### ○主催事業

- ・「あなたのボランティア魂に灯をつける!!かもしれない!?夏のボランティア体験2021」事前説明（7月19～21日、7月26日～28日、8月23日～25日）

・・・参加者36名

- ・ボランティア体験（7月24日～9月26日）・・・参加者43名※うち学習会のみ4名、参加団体5（のべ5メニュー）
- ・夏ボラカフェ・・・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
- ・「しりあう・つながる・何か生まれる!!かもしれない!?交流会～ボランティア・市民活動交流会～」・・・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
- ・公益活動に関する研修会「伝わるチラシづくり講座」（12月4日）・・・参加者31名（会場19名、オンライン12名）

##### ○共催、参加事業

##### ・酒田市社会福祉協議会事業

酒田日和山公園桜まつり開催期間中の車いす無料貸出し

桜まつりは実施されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から露店の出展がなく、本部テントの設置されなかったため、本事業も中止とした

##### ・東北公益文科大学 地域共創センター主催

「ボランティアコーディネーション力3級検定」事前学習会（8月18日）、直前研修、検定試験（9月11日）、事後学習会（9月15日）・・・受験者29名

##### ・酒田市文化芸術推進プロジェクト会議、酒田市主催

SAKATAアートマルシェ いいいろいろ展（障がい者アート展）」

（9月18日～9月26日）・・・来場者652名（市のイベントと同時開催）

##### ・庄内地域広げようボランティアの輪連絡会議主催事業

ボランティアに関するチラシを作成。窓口設置、学校や関係機関へ配布した。

##### ・NPO 運営基礎講座・NPO なんでも相談会・助成金獲得講座・若者向けボランティア育成講座（NPO 法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催）

NPO なんでも相談会①（11月17日）・・・2名参加

- 助成金獲得講座（12月13日）・・・17名参加
- NPO 運営基礎講座（1月23日）・・・4名参加
- 若者向けボランティア育成講座（2月13日）・・・4名参加（オンライン）
- NPO なんでも相談会②（2月21日）・・・1名参加

○相談、活動のコーディネート

ボランティア・市民活動に関すること（ボランティアをしたい、ボランティアを探している等）、団体の活動周知に関すること、補助金に関すること、ボランティア活動保険に関することなどの相談を、電話、窓口、メールなどで受け、随時コーディネートを行った。

(3) ボランティア・公益活動に関する情報発信

- ・ボランティア・公益活動センターだより 9回 各約1000部発行
- ・ホームページを活用して、最新情報を随時発信
- ・メール・FAXでの情報送信 登録団体・登録者へ
- ・11月より、ボラポートさかたインスタグラムアカウント開設

(4) 市よりの受託事業

○ボランティア・公益活動センター業務

- ・公益活動支援補助金・・・相談、申請受付、審査会開催など
- ・ボランティア・公益活動団体の紹介ブックレット発行
- ・飛島ボランティア活動支援補助金・・・相談、申請受付など

○福祉の担い手育成事業

- ・高齢者疑似体験事業 市内の小中学校10校 17回実施

○手話奉仕員育成事業

- ・手話教室の実施

手話奉仕員養成講座 全39回 参加者24名（うち 7名修了）

ステップアップ講座 全20回 参加者6名

○元気シニアボランティア事業

対象地区 琢成・松陵・浜田・若浜・亀ヶ崎・松原・港南・富士見・泉・  
新堀・広野・黒森・十坂・浜中・宮野浦・鳥海・西荒瀬地区・平田・一条・  
八幡・松山・南平田・田沢  
登録者40名

## ボランティア保険加入手続き

ボランティア活動等を行う市民の皆様が安心して活動を実施するために、全国社会福祉協議会が一括で損害保険会社と契約する保険の取りまとめ窓口として、受付事務を行いました。

(酒田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	34	11	2467	2463
ボランティア行事用保険	10	0	延べ 545	延べ 240
福祉サービス総合補償	2	0	835	1263
送迎サービス補償	0	0	延べ 0	延べ 0
社協サロン保険	0	0	0	0

(八幡支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	1	1	8	8
ボランティア行事用保険	1	0	43	77
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(松山支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	3	1	83	75
ボランティア行事用保険	0	0	0	0
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(平田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	20	1	578	701
ボランティア行事用保険	3	0	256	256
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	2	0	171	372

	団体数	個人	合計人数	前年度
総合計	76	14	4986	6055

## 5 災害対策の実施

### 災害時の対応と災害に備えたボランティア活動

- ・社協防災訓練（9月10日）・・研修会「災害ボランティアセンターの理解について」
- ・日向地区除雪ボランティア（1月22日）・・日向コミュニティ振興会、市と企画。新型コロナウイルス感染拡大防止のため少人数で実施。1月22日参加者39名（スタッフ含む）。  
※2回目を2月12日に予定していたが、まん延等防止重点措置期間のため中止。



令和3年度 避難者生活相談支援事業 会議・交流会等

4月	20(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
5月	18(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 28(金) 第91回支援者のつどい (オンライン会議)
6月	10(木) 第1回被災者生活支援調整会議 (オンライン会議) 15(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
7月	5(月) 第1回酒田市避難者生活相談支援事業連絡会議 20(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 30(金) 第92回支援者のつどい (オンライン会議)
8月	17(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 25(水) 第2回被災者生活支援調整会議 (オンライン会議)
9月	21(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 28(火) 三県合同研修会・情報交換会 (オンライン会議) 30(木) 第93回支援者のつどい (オンライン会議)
10月	6(水) やまがた避難者支援協働ネットワーク意見交換会 (オンライン会議) 19(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 28(木) 第94回支援者のつどい (オンライン会議)
11月	15(月) 酒田市関係課による東日本大震災に伴う避難世帯への全戸訪問の打ち合わせ 16(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 25(木) 第3回被災者生活支援調整会議 (オンライン会議)
12月	21(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 24(金) 第95回支援者のつどい (オンライン会議)
1月	18(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 28(金) 第96回支援者のつどい (オンライン会議)
2月	15(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 (中止) 17(木) 「福島県外避難者の心のケア事業」研修会 (オンライン会議) 25(金) 第4回被災者生活支援調整会議 (オンライン会議)
3月	第2回酒田市避難者生活相談支援事業連絡会議 (3/8 書面報告) 11(金) 東日本大震災復興祈念キャンドルナイト (市社協&公益大 moreE) 15(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 24(木) 第97回支援者のつどい (オンライン会議) 29(火) 全戸訪問情報交換会 (オンライン会議)

\*月1回、こんにちわだよりの発行をしています。

避難者生活相談支援事業活動

月		コンタクト方法									のべ 人数	合計
		訪問	電話	来所	他機関 つなぎ	避難者 サロン	地域 サロン	地域関 係構築	関係機 関支援 調整	郵送 メール		
4	避難者	21	4	2		1	1				29	48
	支援者		6				1		6	6	19	
5	避難者	21	3	1		1	1				27	45
	支援者		7						3	8	18	
6	避難者	2	4	1		1	1				9	40
	支援者		16	1		1			7	6	31	
7	避難者	29	3	4		1	1				38	55
	支援者		6	3		1			4	3	17	
8	避難者		1	2		1				1	5	17
	支援者		4			1			2	5	12	
9	避難者			1		1					2	16
	支援者		3			1			3	7	14	
10	避難者	28	3	1		1	1				34	51
	支援者		6			1			5	5	17	
11	避難者	4	10	2		1	1				18	62
	支援者		24	1		1			3	15	44	
12	避難者	47	10	3		1	1			10	72	100
	支援者	1	18	1		1			2	5	28	
1	避難者	14	3			1	1			5	24	44
	支援者		11			1			2	6	20	
2	避難者	3	1								4	18
	支援者		7						3	4	14	
3	避難者	2	4	2		1					9	32
	支援者		16			1			4	4	25	

## 6 相談事業

### 心配ごと相談

相談内容	件数
家族に関する相談	4
生計に関する相談	0
住宅に関する相談	2
その他	6
合計	12
前年度計	5

## 7 介護及び障がい福祉サービス事業

### 居宅介護支援事業

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
給付管理数	346	350	348	341	353	346	344	335	327	314	315	320	4,039
要介護1.2	211	210	206	201	212	205	203	194	193	183	182	185	2,385
要介護3.4.5	135	140	142	140	141	141	141	141	134	131	133	135	1,654
予防支援	13	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	139
認定調査	9	14	21	14	18	18	14	12	5	9	19	20	173

### 障がい児・者相談支援事業

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
給付管理数	23	14	24	19	16	29	22	25	34	21	12	26	265
モニタリング	18	7	18	11	14	20	13	17	25	19	8	20	190
計画作成	5	7	6	8	2	9	9	8	9	2	4	6	75

## 訪問介護事業

### ① 訪問介護利用状況

(単位：回数)

月	介護サービス				障がい福祉サービス				保険外	合計
	総合事業		身体介護	生活援助	身体介護	家事援助	同行援護	移動支援	生活支援	
	A型	従前相当								
4	184	10	584	531	110	188	28	4	28	1,667
5	176	11	596	502	114	183	26	4	25	1,637
6	195	14	629	481	110	187	28	1	16	1,661
7	189	14	634	505	123	194	19	1	47	1,726
8	184	12	578	503	119	186	13	0	30	1,625
9	189	8	508	499	115	179	13	0	34	1,545
10	160	9	551	534	115	191	26	3	44	1,633
11	172	20	592	533	118	189	23	3	33	1,683
12	189	23	569	582	110	192	24	2	37	1,728
1	166	19	522	519	93	178	11	0	30	1,538
2	159	16	459	502	103	155	10	0	22	1,426
3	184	18	536	558	118	197	26	1	35	1,673
合計	2,147	174	6,758	6,249	1,348	2,219	247	19	381	19,542
前年度	1,867	228	5,992	6,013	1,156	2,109	215	35	261	17,876

### ② 訪問介護職員研修会開催状況

月	研修内容	月	研修内容
4	令和3年度事業計画と研修計画 職員職業倫理及び法令遵守	10	調理について 「薬によって禁止の食品を学ぶ」
5	介護技術向上研修① 感染症対策、防護服着脱実技	11	「令和3年度介護サービス事業部門 BCP事業継続計画訓練」
6	介護技術向上研修② 身体状況に合わせた介助方法、腰痛予防	12	事例検討発表会 A.利用者ヘルパーの関係作りを考える B.高齢者世帯でのサービス対応の方法 C.アセスメント作成しヘルパーと連携して支援
7	交通安全研修会	1	高齢者虐待防止について 「成年後見制度を学ぶ」
8	リスクマネジメント 「事故発生防止と発生時の適切な対応」	2	訪問介護業務について 「禁止の医療行為、グレーゾーンの理解」
9	「心肺蘇生、AEDを用いた除細動」	3	令和3年度の反省・評価と課題の検討 令和4年度の年間計画について

# 通所介護事業

## ①酒田市デイサービスセンターいずみ利用状況

(単位：人)

月	介 護 度 区 分								計	内 訳		稼働日数	利一日平均 利用人数	利用実人員
	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5		入浴	食事			
4	4	4	32	70	212	100	37	11	470	461	463	26	18.1	55
5	4	3	27	78	210	112	41	24	499	484	491	26	19.2	61
6	7	5	21	59	215	113	43	38	501	486	484	26	19.3	61
7	4	4	27	52	208	112	48	38	493	481	476	27	18.3	55
8	4	5	25	49	218	110	51	40	502	487	484	26	19.3	56
9	5	0	26	52	234	131	45	40	533	521	513	26	20.5	58
10	6	0	23	55	221	128	56	25	514	503	507	26	19.8	57
11	9	0	24	57	247	130	47	30	544	528	536	26	20.9	63
12	5	0	24	54	250	119	41	39	532	516	513	26	20.5	61
1	3	0	26	46	201	101	29	29	435	426	419	24	18.1	60
2	0	0	29	42	222	117	24	32	466	455	451	24	19.4	57
3	0	0	31	47	240	121	38	45	522	510	506	27	19.3	57
合計	51	21	315	661	2,678	1,394	500	391	6,011	5,858	5,843	310	19.4	701
前年度合計	54	25	460	717	2,477	1,248	403	323	5,707	5,502	5,488	310	18.4	651
月平均	4.3	1.8	26.3	55.1	223.2	116.2	41.7	32.6	500.9	488.2	486.9	25.8	19.4	58.4

## ②酒田市デイサービスセンターいずみ利用状況（認知症対応型通所介護）

(単位：人)

月	介 護 度 区 分					計	内 訳		稼働日数	利一日平均 利用人数	利用実人員			
				介護1	介護2		介護3	介護4				介護5	入浴	食事
4				30	49	67	0	0	146	105	145	26	5.6	13
5				29	51	47	0	0	127	83	127	26	4.9	12
6				21	44	46	0	0	111	71	111	26	4.3	11
7				16	53	7	30	0	106	83	106	27	3.9	12
8				14	38	0	25	0	77	59	77	26	3.0	10
9				19	56	0	28	0	103	82	103	26	4.0	10
10				19	60	6	27	0	112	93	112	26	4.3	12
11				20	71	12	28	0	131	110	131	26	5.0	12
12				17	71	7	28	0	123	102	123	26	4.7	12
1				14	35	9	29	0	87	71	87	24	3.6	11
2				16	50	9	35	0	110	91	110	24	4.6	11
3				19	45	21	39	0	124	104	124	27	4.6	11
合計				234	623	231	269	0	1,357	1,054	1,356	310	4.4	137
前年度合計				130	593	816	289	34	1,862	1,483	1,860	310	6.0	170
月平均				19.5	51.9	19.3	22.4	0.0	113.1	87.8	113.0	25.8	4.4	11.4

③酒田市デイサービスセンター松山利用状況

(単位：人)

月	介護度区分								計	内訳		稼働日数	利一日平均 利用人数	利用実人員
	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5		入浴	食事			
4	7	0	22	86	159	55	0	8	337	266	329	26	13.0	40
5	7	0	25	87	163	67	0	9	358	294	348	26	13.8	40
6	4	0	26	85	162	72	5	9	363	310	354	26	14.0	41
7	9	0	26	83	169	84	12	9	392	330	383	27	14.5	43
8	5	1	23	84	144	97	4	9	367	333	358	26	14.1	43
9	7	2	18	88	146	105	7	8	381	342	373	26	14.7	43
10	6	2	23	68	150	101	16	10	376	334	364	26	14.5	44
11	4	6	28	70	167	86	19	9	389	356	378	26	15.0	47
12	4	7	30	74	165	83	25	12	400	369	392	26	15.4	50
1	3	4	32	68	156	77	23	10	373	338	364	24	15.5	51
2	4	3	36	65	153	69	26	11	367	328	358	24	15.3	50
3	4	4	32	66	164	102	25	12	409	375	401	27	15.1	49
合計	64	29	321	924	1,898	998	162	116	4,512	3,975	4,402	310	14.6	541
前年度合計	125	11	250	815	1,919	957	95	205	4,377	3,588	4,269	310	14.1	500
月平均	5.3	2.4	26.8	77.0	158.2	83.2	13.5	9.7	376.0	331.3	366.8	25.8	14.6	45.1

## 地域包括支援センター にいだ

### 酒田市地域包括支援センターにいだ活動報告

#### ◆予防給付に関すること (単位:件)

予防プラン作成	348
介護報酬請求	1,685
うち 委託件数	316
予防プランチェック	41
サービス担当者会議	60
サービス調整	252
その他	119
予防給付計	2,821

#### ◆一般高齢者事業に関すること (単位:回)

サロン等	会議	13
	講座	23
	その他	37
サービスB型に関すること	52	
すこやかマスターズに関すること	54	
計	179	

#### ◆相談に関すること (相談者別) (単位:件)

本人	1384
家族・親族	787
民生委員	127
地域関係者	68
事業所	606
医療機関	269
行政	156
警察・金融機関	43
その他	42
計	3,482

#### ◆相談に関すること (相談対象別) (単位:件)

高 (65歳以上) 一般	2,378
高 (65歳以上) 精神	166
高 (65歳以上) 認知	790
未 (65歳未満) 一般	30
未 (65歳未満) 精神・知的	85
未 (65歳未満) 認知	2
事業所	10
その他	12
計	3,473

#### ◆相談に関すること (相談方法別) (単位:件)

訪問	1,299
電話	1,773
来所	223
メール	19
その他	168
計	3,482

#### ◆相談に関すること (相談回数) (単位:件)

新規	451
年度初回	340
年度継続	2,691
計	3,482

#### ◆ 1 総合相談 (単位:件)

介護保険対象サービス	769
介護保険以外	116
施設入所	89
家族問題	68
生活環境・経済問題	264
疾病・医療について	240
実態把握	324
認知症に関すること	119
その他	175
計	2,164

#### ◆ 2 権利擁護関係 (単位:件)

成年後見制度	14
高齢者虐待	26
消費者被害	0
事例検討会 (虐待など)	0
その他	12
計	52

#### ◆ 3 包括的・継続的 (単位:件)

1支援困難事例	153
2サービス担当者会議	5
3ケアプラン作成相談	70
4ケアマネ支援	42
5退院支援	56
6その他	52
計	378

#### ◆ 4 介護予防ケアマネジメント (単位:件)

予防プラン作成	317
サービス担当者会議	50
サービス調整	282
プランチェック	20
その他	219
計	888

#### ◆ 相談内容合計 (単位:件)

1 総合相談	2,164
2 権利擁護関係	52
3 包括的・継続的	378
4 介護予防ケアマネジメント	888
合計	3,482

## 8 広報活動、顕彰、慰霊事業

### 広報活動

#### 酒田市社協会報「ふれあい」の発行

号 頁	51号 (R3. 6. 15 発行)	52号 (R3. 10. 1 発行)	53号 (R4. 3. 15 発行)
表 紙	・市内におけるシトラスリボンプロジェクトの輪	・赤い羽根共同募金助成 (ちょうかい子育て応援団)	・話し合いから始まる地域づくり (北平田コミ振)
2	・令和3年度事業計画、予算概要	・赤い羽根共同募金活動開始 (令和3年度助成先の紹介、 令和4年度助成先募集等)	・話し合いから始まる地域づくり (市内4地区のワークショップの様子、市役所・社協の関わり)
3	・社協会費、日赤会費協力依頼		
4	・社協の相談窓口 (福祉サービス利用援助事業の特集含む)	・災害ボラセンの設置	・福祉関係表彰受賞者の紹介
5		・法人後見事業 ・日本赤十字社活動の協力	
6	・シトラスリボンプロジェクトについて	・令和2年度決算報告 ・評議員・理事・監事紹介	・PHOTO 社協 (手話奉仕員養成講座、学区地区社協事業、戦没者遺品返還式等)
7	・お知らせ (車いすの貸出し、赤い羽根共同募金 令和4年度助成先募集、義援金受付) ・お詫びと訂正 ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ (会報編集委員会、自立支援センター、義援金受付) ・お詫びと訂正 ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ (社協支部窓口時間変更、ボランティア活動保険等) ・自立支援センターの紹介 (生活福祉資金等) ・ご寄付ご寄贈の報告
8	・PHOTO 社協 写真で見る社協事業 (キャンドルナイト、地域福祉意見聴取会、元気シニアボランティア等)	・PHOTO 社協 写真で見る社協事業 (よろずや琢成、高齢者疑似体験・夏のボランティア体験等)	・赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金への協力法人等の紹介
9			
10			
11			
12			・(裏表紙) 赤い羽根共同募金の説明、協力への感謝



## 顕彰事業

### 令和3年度酒田市社会福祉協議会表彰式

- 日時 令和3年11月30日(火) 午前10時～
- 場所 酒田市総合文化センター ホール
- 表彰者 社会福祉協議会運営参画4名、民生委員・児童委員活動1名、母子福祉活動1名、遺族会活動1名、福祉協力員活動26名、ボランティア活動2名  
計35名
- 感謝状 老人クラブ活動1名、自立支援活動4名、高齢者の居場所づくり活動2名、ふれあい給食調理ボランティア活動1名、多額の寄付1名1団体、ボランティア活動1名、福祉協力員活動1名  
計11名1団体

### 令和3年度山形県・県民福祉大会表彰式 ※中止

- 表彰者 一般社会福祉事業関係功労者16名、

### 全国社会福祉協議会会長表彰

- 表彰者 民生委員・児童委員功労者2名

### 社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

- 表彰者 社会福祉事業従事者1名

### 中央共同募金会会長表彰 1団体

## 戦没者追悼式の開催

### 令和3年度酒田市戦没者追悼式 ※中止

## 9 法人運営、施設管理

### 自主財源の確保

	社協会費				寄付金	合計
	個人会費	賛助会費	特別会費	計		
R 3	28,359 世帯	46 団体	318 人	28,723 件	48 件	28,771 件
	14,180,700 円	182,000 円	477,000 円	14,839,700 円	1,532,286 円	16,371,986 円
R 2	28,398 世帯	48 団体	319 人	28,765 件	41 件	28,806 件
	14,199,000 円	160,000 円	478,500 円	14,837,500 円	1,009,035 円	15,846,535 円

### 施設管理

#### (1) 地域福祉センター

		R2 年度実績	R3 年度実績	比較 R3/ R2
電気	使用量 (kwh)	42,808		92.6%
	金額 (円)	1,244,126		
灯油	使用量 (ℓ)	9,954		121.3%
	金額 (円)	791,098		
ガス	使用量 (m <sup>3</sup> )	137.7		89.6%
	金額 (円)	63,741		
水道	使用量 (m <sup>3</sup> )	638.0 +3 月		104.1%
	金額 (円)	400,800 +3 月		

## 事業所安全衛生委員会

### (1) 委員会開催概要

開催日	主な協議内容
4月16日	・年間計画について
6月30日	・健康診断結果について (産業医・渡邊医師)
7月16日	・職場の交通安全について (酒田警察署交通課交通安全係)
9月17日	・心肺蘇生法・AEDについて (日赤県支部派遣指導員による講習)
10月21日	・インフルエンザ対策について
11月17日	・健康診断結果について (産業医・渡邊医師)
1月19日	・知的障害×疑似体験について (花笠ホープ隊を講師にした職員研修)

酒田市地域福祉センターと八幡やまゆり荘の管理・運営

(1) 酒田市地域福祉センター

区分 月	貸館利用数						1日 平均 人	開館日数 日
	有 料		無 料		合 計			
	件	人	件	人	件	人		
4	0	0	35	449	35	449	15	30
5	0	0	22	253	22	253	8	31
6	0	0	39	504	39	504	17	30
7	0	0	22	320	22	320	10	31
8	0	0	20	228	20	228	7	31
9	0	0	21	266	21	266	9	30
10	0	0	38	427	38	427	14	31
11	0	0	34	437	34	437	15	30
12	0	0	28	267	28	267	27	10
1	0	0	16	167	16	167	7	25
2	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	11	185	11	185	7	25
合計	0	0	286	3,503	286	3,503	12	304
前年度合計	0	0	645	6,602	645	6,602	18	359

(2) 老人福祉センター「やまゆり荘」

月	区分	回 数	人 数
4		17	25
5		4	18
6		3	39
7		2	8
8		3	10
9		2	9
10		3	19
11		4	45
12		5	11
1		2	5
2		0	0
3		5	16
合 計		50	205
前年度合計		137	333

## 酒田市福祉バス・日赤福祉バス運行状況

### (1) 酒田市福祉バス運行状況

運行日数	44 日	内訳	市 内	422 人 (回)
運行回数	44 回		庄 内	316 人 (回)
総利用人数	813 人		県 内	75 人 (回)
			県 外	0 人 (回)

種別 月	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエ ーション	訓 練 リハビリ	園外保育	合 計
4									0
5								2	2
6				1				3	4
7		4		1				1	6
8		2		3					5
9		2		0					2
10		3	1	2					6
11		6		4				2	12
12				3				1	4
1				1				2	3
2									0
3									0
計	0	17	1	15	0	0	0	11	44
前年度計	4	11	4	9	2	0	0	8	38

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため、4月運行キャンセル多

※ コロナ感染まん延防止等重点措置適用期間(1/27~2/20)のため利用中止

※ コロナ感染リバウンド防止特別対策期間(2/21~3/6)のため利用中止

### (2) 酒田市日赤福祉バス運行状況

運行日数	26 日	内訳	市 内	195 人 (回)
運行回数	26 回		庄 内	44 人 (回)
総利用人数	291 人		県 内	52 人 (回)
			県 外	0 人 (回)

種別 月	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエ ーション	訓 練 リハビリ	園外保育	合 計
4									0
5		1		1	1			1	4
6		1		1				1	3
7				1				1	2
8		1		1				1	3
9									0
10		3	1	1				1	6
11		1		2				1	4
12				2					2
1				1				1	2
2									0
3									0
計	0	7	1	10	1	0	0	7	26
前年度計	1	4	1	12	0	0	0	1	19

## (3) 令和3年度 団体別福祉バス・日赤福祉バス利用状況

単位:日

団 体 名	福祉バス		日赤福祉バス	
	利用日数	人数	利用日数	人数
老 人 ク ラ ブ	4	72	2	21
民生児童委員協議会連合会	2	40	1	11
母 子 寡 婦 福 祉 会	2	41	1	10
ボランティア連絡協議会	1	19		
法 人 保 育 園	12	237	6	66
自治会連合会・各自治会	1	21		
学区社協・コミュニティ振興会	13	245	4	43
市 社 会 福 祉 協 議 会	7	101	8	98
学 童 保 育	2	37	1	11
そ の 他			3	31
合 計	44	813	26	291
前 年 度 計	38	659	19	211

令和3年度分八幡やまゆり号利用状況

運行日数	15 日	内 訳	市内	168 人	15 回
運行回数	15 回		庄内	0 人	1 回
総利用人数	168 人		県内	0 人	0 回
			県外	0 人	0 回

(単位：日)

種別 月	研修会	施設視察	学習会 交流会	送迎	総会	合計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	1	0	1
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	1	0	1
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	2	0	2
11月	0	0	0	3	0	3
12月	0	0	0	4	0	4
1月	0	0	0	1	0	1
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	3	0	3
計	0	0	0	15	0	15

令和3年度 やまゆり号利用状況

団 体 名	日 数
ミニデイサービス	6
サロ ン	0
各 コ ミ セ ン 事 業	4
な の は な 畑	0
市 学 童 保 育 所	0
社会福祉協議会(支部・地区)	3
民生委員児童委員協議会	0
老 人 ク ラ ブ	1
ボ ラ ン テ ィ ア 団 体	0
障 害 者 関 係 団 体	1
婦 人 会 関 係	0
遺 族 会	0
そ の 他 の 福 祉 団 体 等	0
合 計	15

## 各支部の運営

### (1) 八幡支部

#### ①地域福祉事業

実施年月日	内 容	備 考
令和 3年10月20日	* 日向地区支え合い活動実行委員会①	日向コミセン
12月 1日	* 日向地区支え合い活動実行委員会②	日向コミセン
1月22日	* 日向ささえあい除雪ボランティア	日向地区
3月16日	* 日向除雪ウェアブル端末報告会	日向コミセン
3月29日	* 日向地区移動支援研修会	日向コミセン
令和 3年11月	* ミニデイサービス (11/4、11/18、11/25)	35名 やまゆり荘
12月	* ミニデイサービス (12/2、12/9、12/16)	35名 一條コミセン
令和 4年 3月	* ミニデイサービス (3/10、3/17、3/24)	30名 一條コミセン

#### ②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和 3年 8月15日	* 平和の鐘つき	亡利の山
9月22日	* 酒田市戦没者遺品返還式	やまゆり荘
10月28日	* 八幡身障親睦レクリエーション大会	八森G・C
10月27日	* 老人クラブ「グランドゴルフ大会」	鶴岡市・庄内町
11月 5日	* 老人クラブ「女性会視察研修会」	八幡刈センター
11月26日	* 老人クラブ「いきいき健康講座」	八幡刈センター
12月23日	* 老人クラブ「軽スポーツ交流大会」	

#### ③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和 3年10月 1日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼	自治会長 コミセン等 総合支所等
10月18日	* 法人募金（一條地区、大沢地区）	15か所
10月21日	* 法人募金（日向地区、観音寺地区）	30か所
12月22日	* 歳末たすけあい激励金配布	八幡刈センター



(2) 松山支部

①地域福祉事業&福祉教育事業

実施年月日	内 容	備 考
令和3年 7月 3日	* 松山健康フェア	農村改善センター
令和3年 10月 7日	* 松山健康福祉センター防災訓練	健康福祉センター
令和3年 5月から 令和3年12月まで	* 松山いきいきクラブ(全7回) 第3水曜日午前10時から11時30分まで	農村改善センター
令和3年 5月から 令和4年 3月まで	* おとこかれーくらぶ(全7回) 第3月曜日午前10時から	健康福祉センター
3月17日	* 松山健康福祉センター防災訓練	健康福祉センター

②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和3年 7月16日	* 老人クラブ連合会松山支部スポーツレクリエーション大会	里仁館体育館
10月 5日	* 老人クラブ連合会松山支部スポーツレクリエーション大会	松山河川運動公園
11月20日	* 老人クラブ連合会松山支部福祉講座	健康福祉センター
令和4年 3月 1日	* 広報「まつかさ」発行	健康福祉センター
3月12日	* 松山・平田手をつなぐ育成会役員研修会	健康福祉センター

③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和3年 10月 1日 ~ 12月31日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼 * 法人募金	自治会長 コミセン等 総合支所 21か所

(3) 平田支部

①地域福祉事業&福祉教育事業

実施年月日	内 容	備 考
令和3年4月 ~令和3年12月	* 一人暮らし高齢者世帯等への包括ひらた との合同訪問 延18世帯訪問	

②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和3年 6月18日	* 老人クラブ女性部研修会	ミライニ
7月26日	* 老人クラブグラウンドゴルフ大会	高畑グラウンド
10月21日	* 山形県戦没者追悼式・遺族大会	山形テルサ
11月19日	* 老人クラブ公式ワナゲ大会	海洋センター
12月 2日	* 老人クラブ女性部研修会	ひらたセンター
令和4年 3月16日	* 身障協あいあいサロン	ひらたセンター
令和3年5月～ 令和3年12月	* 老人クラブ健康づくり教室 毎月第1・3月曜日実施 4、6、7月、1～3月は中止	ひらたセンター

③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和3年 10月 1日 ～ 12月31日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼 * 法人募金	自治会長 コミセン等 総合支所等 29か所

## 市社協機関会議等の開催

### (1) 正副会長会議

#### ① 第1回正副会長会議（令和3年5月14日）

##### 協議案件

1. 5月24日（月）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 6月18日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会運営委員会（5/24）・審査委員会（6/18）提出議題について
4. その他

#### ② 第2回正副会長会議（令和3年8月27日）

##### 協議案件

1. 9月6日（月）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 酒田市社会福祉協議会評議員の欠員について
3. 酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の専決処分について
4. その他

#### ③ 第3回正副会長会議（令和3年12月2日）

##### 協議案件

1. 12月9日（木）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 12月17日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会（12/9）・審査委員会（12/17）提出議題について
4. その他

#### ④ 第4回正副会長会議（令和4年3月1日）

##### 協議案件

1. 3月10日（木）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 3月23日（水）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会（3/10）・審査委員会（3/23）提出議題について

#### 4. その他

##### (2) 理事会

###### ① 第1回理事会（令和3年5月24日）

###### 議 事

- 第1号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第4号)の専決処分について
- 第2号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会事業報告について
- 第3号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支決算について
- 第4号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について
- 第5号議案 酒田市社会福祉協議会評議員の選任候補者の推薦について
- 第6号議案 酒田市社会福祉協議会理事及び監事の選任候補者の推薦について
- 第7号議案 酒田市社会福祉協議会役員報酬に関する規程の一部改正について
- 第8号議案 酒田市社会福祉協議会社会福祉事業基金規程の一部改正について
- 第9号議案 酒田市社会福祉協議会令和3年度第1回評議員会の招集について

###### ② 第2回理事会（令和3年6月25日）

###### 議 事

- 第1号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会会長の選定について
- 第2号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会副会長の選定について
- 第3号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会常務理事の選定について
- 第4号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会部会員の選任について
- 第5号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会苦情解決責任者の任命について
- 第6号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会駆除解決第三者委員の選任について
- 第7号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- 第8号議案 酒田市社会福祉協議会会長の報酬について

###### ③ 第3回理事会（令和3年9月6日） ※書面評決

###### 議 事

- 第1号議案 令和2年度新・草の根事業補助金の取扱いについて

④ 第4回理事会（令和3年12月19日）

議事

- 第1号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)の専決処分について
- 第2号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正の専決処分について
- 第3号議案 酒田市社会福祉協議会令和3年度評議員会の招集について

⑤ 第5回理事会（令和4年3月10日）

議事

- 第1号議案 第4期地域福祉活動計画について
- 第2号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)について
- 第3号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
- 第4号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について
- 第5号議案 酒田市社会福祉協議会令和3年度評議員会の招集について

(3) 評議員会

① 第1回評議員会（令和3年6月18日）

議事

- 第1号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第4号)の専決処分について
- 第2号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会事業報告について
- 第3号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支決算について
- 第4号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について
- 第5号議案 酒田市社会福祉協議会理事及び監事の選任について
- 第6号議案 酒田市社会福祉協議会役員報酬等に関する規程の一部改正について
- 第7号議案 酒田市社会福祉協議会社会福祉事業基金規程の一部改正について

② 第2回評議員会（令和3年12月17日）

議事

- 第1号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について
- 第2号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正の専決処分について

③ 第3回評議員会（令和4年3月23日）

## 議 事

- 第 1 号議案 第 4 期酒田市地域福祉活動計画について
- 第 2 号議案 令和 3 年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 3 号）について
- 第 3 号議案 令和 4 年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
- 第 4 号議案 令和 4 年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について

### (4) 専門部会

#### ① 総務財政部会

##### 第 1 回総務財政部会

- 日 時 令和 3 年 11 月 29 日（月）午前 10 時
- 場 所 酒田市地域福祉センター
- 内 容 ○ 部会長、副部会長の選任について
- 総務課所管事業（事務）進捗状況について
- その他

##### 第 2 回総務財政部会 ※書面開催

- 日 時 令和 4 年 2 月 24 日
- 内 容 第 4 期酒田市地域福祉活動計画について
- 令和 3 年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第 3 号)について
- 令和 4 年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
- 令和 4 年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について

#### ② 地域福祉・ボランティア部会

##### 第 1 回地域福祉・ボランティア部会

- 日 時 令和 3 年 11 月 24 日（水）
- 内 容 ○ 地域福祉事業及びボランティア事業の進捗状況について
- 第 4 期酒田市地域福祉活動計画について

##### 第 2 回地域福祉・ボランティア部会 ※書面開催

- 日 時 令和 4 年 2 月 22 日
- 内 容 ○ 第 4 期酒田市地域福祉活動計画の策定について（概要）
- 第 4 期酒田市地域福祉活動計画（案）について
- 令和 4 年度地域福祉課所管事業計画について

#### ③ 介護保険部会

##### 第 1 回介護保険部会

- 日 時 令和 3 年 11 月 26 日（金）午前 10 時
- 場 所 酒田市地域福祉センター

- 内 容 ○ 正副部会長の選任について  
○ 令和3年度介護サービス課の事業内容について

第2回介護保険部会 ※書面開催

日 時 令和4年2月25日

- 内 容 ○ 令和4年度介護サービス課の事業計画（案）について

④ 共同募金部会

第1回共同募金部会

日 時 令和3年9月14日（火）午後2時

場 所 酒田市地域福祉センター

- 内 容 ○ 正副部会長の選任について  
○ 令和2年度共同募金・歳末たすけあい募金実績について  
○ 令和3年度共同募金助成について  
○ 令和3年度共同募金・歳末たすけあい募金目標額について  
○ 令和3年祖共同募金運動の日程と活動について

第2回共同募金部会

日 時 令和3年11月22日（月）午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

- 内 容 ○ 山形県共同募金会の監査について  
○ 令和3年度共同募金収納状況について  
○ 令和3年度歳末たすけあい運動について  
○ 酒田市共同募金委員会会則の一部改正について  
○ 歳末たすけあい激励金助成計画について

第3回共同募金部会 ※書面開催

日 時 令和4年2月22日

- 内 容 ○ 令和3年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会収支補正  
予算（第1号）について  
○ 令和4年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会事業計画  
について  
○ 令和4年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会資金収支  
予算について  
○ 令和4年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会助成計画  
について  
○ 歳末たすけあい募金の統一について

(5) 監査

① 社協内部監査

日 時 令和3年5月10日(月)午前10時  
場 所 酒田市地域福祉センター 2階 大会議室  
内 容 ○ 令和2年度の事業報告書、貸借対照表、財産目録、一般会計  
資金収支決算書等の監査

② 酒田市財政援助団体等監査

日 時 書類監査 令和3年5月19日(水)午前9時から午後4時  
本 監 査 令和3年6月 8日(火)午前10時30分から12時  
場 所 酒田市地域福祉センター 2階 大会議室  
対 象 社会福祉協会運営費補助金(令和2年度分)

(6) 各種研修会等

① 自治会長研修・説明会 (琢成・浜田・若浜)

日 時 令和3年5月27日(木)午後1時30分  
場 所 酒田市勤労者福祉センター 3階 多目的ホール  
内 容 ○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概  
要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について

② 自治会長研修・説明会 (亀ヶ崎・富士見・松原・港南・松陵・泉・宮野浦)

日 時 令和3年6月1日(火)午後1時30分  
場 所 酒田市勤労者福祉センター 3階 多目的ホール  
内 容 ○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概  
要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について

③ コミュニティ振興会長並びに事務担当者研修・説明会

日 時 令和3年5月28日(金)午後1時30分  
場 所 酒田市地域福祉センター 2階 大会議室  
内 容 ○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概  
要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について

④ 八幡支部福祉推進員研修・説明会

日 時 令和3年6月2日(水)午後2時  
場 所 八幡タウンセンター 交流ホール  
内 容 ○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概  
要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について



- ⑤ 松山支部福祉推進員研修・説明会  
日 時 令和3年6月3日(木)午後2時  
場 所 松山農村改善センター  
内 容 ○酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ⑥ 平田支部福祉推進員研修・説明会  
日 時 令和3年6月23日(水)午後2時  
場 所 平田農村環境改善センター  
内 容 ○酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ⑦ (自治連)新自治会長研修会  
日 時 令和3年6月28日(月)午前10時  
場 所 酒田市地域福祉センター 2階大会議室  
内 容 ○自治会の今について  
○ 酒田市社会福祉協議会の概要について
- ⑧ 各学区・地区社協代表者会議(説明会)  
※ コロナ禍のため、説明会は中止とし各地区担当職員が学区地区社協事務局へ訪問して説明  
内 容 ○ 令和4年度「新・草の根補助金予定額」のご案内と手続き等